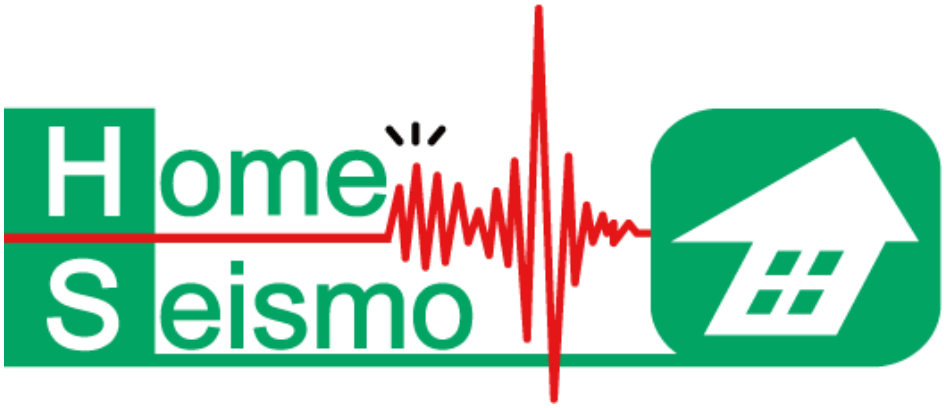
取扱説明書



地震計内蔵　緊急地震速報受信機

HomeSeismo　HS302P

スペシャルプラン-PATLITE 用

スペシャルプランはカスタマイズ対応プランです。
スペシャルプラン-PATLITE は、パトライト社製端末 FTE-HS に対応しています。
FTE-HS 連動（エイツー社製 LED 表示器・LAN スピーカ非連動）以外は、HS302P ベーシックプラン同等です。
本取扱説明書は、HS302P ベーシックプランの画面画像で作成されています。

A2 co,ltd.

HS302P-Sp-PATLITE1410（Ver 1.4）

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- HomeSeismo は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資（または役務）には該当しません。
- Windows および Windows Vista、Windows 7、Internet Explorer は米国 Microsoft 社の商標です。
- FLET'S および フレッツ の各サービスは NTT 東日本および NTT 西日本の商標または登録商標です。
- HomeSeismo のロゴマークは株式会社エイツーの登録商標です。

安全上のご注意

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。

お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、当社及び販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。

- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービス及び、技術サポート等を行っておりません。

使用している表示と絵記号の意味

警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されます。
注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分しております。

 発火注意	特定の条件において、発煙または発火の可能性があることを示します。	 感電注意	特定の条件において、感電の可能性があることを示します。
 けが注意	特定の条件において、怪我を負う可能性があることを示します。		

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分しております。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制指示	この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告　　火災・感電・けがを防ぐために

⚠感電注意　⚠発火注意

禁止	電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。
禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。 たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。 また、HS301 の場合はAC100V～240V以外、HS302Pの場合はAC100V（50/60Hz）以外での使用はしないでください。 異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。
禁止	本製品（付属品含む）の分解や改造、修理は行わないでください。火災や感電の原因となります。 また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
禁止	本製品（付属品含む）に濡れた手で触れないでください。電源が入っているときは感電の恐れがあります。 また、電源が入っていなくても、故障の原因となります。
強制指示	電源プラグやACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。 差込が不完全のまま使用すると、ショートしたり、発熱や発煙、火災の原因となります。 抜くときは、必ず電源プラグやACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。
強制指示	ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。 また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
強制指示	次の場合は使用を中止してください。 ・ 液体や異物などが内部に入ってしまったとき ・ 煙、異臭、異音が出たとき
強制指示	アース線を接続してご使用ください。アース線を接続しないと感電や動作不良の原因となります。
強制指示	取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障、誤報の原因となります。また、起動後に取り付け方向を変えると、内蔵地震計が正しく動作しません。

⚠ 注意

⚠落雷注意

禁止	雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電の原因となります。

⚠感電注意　⚠発火注意

禁止	本製品（付属品含む）は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、使用しないでください。 ・ 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ ・ 急激な温度変化のあるところ（結露するようなところ） ・ 油煙、ほこりの多いところ ・ 火気の周辺又は熱気のこもるところ ・ じゅうたん等の保温性、保湿性の高いところ ・ 風通しの悪いところ ・ 漏電のあるところ ・ 強い磁界が発生するところ ・ 静電気が発生するところ ・ 直射日光があたるところ ・ 暖房器具の近くなどの高温になるところ ・ 水平でない場所や振動の激しいところ ・ 腐食ガスが発生するところ
禁止	他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置かないでください。 故障の原因となります。
禁止	強い衝撃を与えないでください。 本製品は精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えてしまうと、故障の原因となります。
強制指示	本製品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。 製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙、火災の原因となることがあります。
強制指示	本製品（付属品含む）のほこりなどは定期的に取ってください。 湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。

けが注意

強制指示	お子様の手の届く場所へ設置、保管しないでください。 本製品（付属品含む）の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。 小さなお子様がご利用になる場合は、製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

その他

禁止	本製品は地震計内蔵のため、次のような場所で設置、使用しないでください。 ・ [MONI]が橙・赤になるところ ・ 冷蔵庫・空調設備・洗濯機・プリンター・電子レンジの近く ・ 音響機器(スピーカ等)の近く ※スピーカは振動しますので、端末の上へスピーカを置かないで下さい。 ・ テーブル、棚やラックの上、固定されていない棚など不安定な場所 ・ テレビやラジオの近く ・ パーテーションなどの固定されていない物 ・ 柱や筋交いがない壁 ・ 周囲に振動の発生源がある場所(発電機や工作機械の間近)
禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品（付属品含む）を拭かないでください。汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はきれいな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭かないでください。
強制指示	静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品（付属品含む）に触れる前にドアノブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くようにしてください。人体からの静電気は、本製品（付属品含む）を破損またはデータの消失、破損させる恐れがあります。
強制指示	本製品（付属品含む）に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める手順（取扱説明書など）に従ってください。

目次

安全上のご注意 2

目次 6

はじめに 8

第 1 章 ご使用前の準備 10

1.1 付属品の確認 11

1.1.1 付属品の確認 11

1.1.2 SW（緑のスイッチ）について
（動作確認、再起動、メンテナンスモード） 11

1.2 各部の名称と働き 12

1.2.1 HS302P 本体(フロント) 12

1.2.2 HS302P 本体（下部カバー内） 13

1.3 LED(ランプ)の動作について 14

第 2 章 HomeSeismo の動作について 16

2.1 HomeSeismo の動作について 17

2.1.1 緊急地震速報受信（通常） 17

2.1.2 緊急地震速報受信（複数の地震発生時） 17

2.1.3 緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知 17

2.1.4 試験放送 及び 気象庁 訓練報 17

第 3 章　設定から新規ユーザ登録まで　18

3.1　HomeSeismo の設定をする 19
3.1.1　HomeSeismo をメンテナンスモードで起動する 19
3.1.2　LAN ケーブルでパソコンと HomeSeismo を接続する 20
3.1.3　パソコンのネットワーク設定を行う 21
3.1.4　HomeSeismo のネットワーク設定を行う 31
3.2　設置・接続をする 35
3.2.1　設置する 35
3.2.2　ネットワークに接続する 37
3.2.3　出力機器を接続する 38
3.3　新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行う 39
3.3.1　新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行う 39
3.3.2　津波・噴火情報の受信設定を行う 39
3.3.3　試験放送を行う 40

第 4 章　HomeSeismo 端末の設定変更　41

4.1　HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする 42
4.1.1　IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）設定の場合 42
4.1.2　IP アドレス指定設定の場合 43
4.1.3　フレッツ網　IPv6 アドレス設定の場合
（フレッツ網　IPv6 へ接続しているパソコンからのアクセス） 44
4.1.4　メンテナンスモードの場合 46
4.2　HomeSeismo の端末設定画面について 50
4.2.1　TOP 50
4.2.2　設定変更 51
4.2.3　動作確認 61
4.2.4　動作履歴 62
4.2.5　FTE-HS 66
4.2.6　再起動 69
4.2.7　ファイル更新 70
4.2.8　解析情報 70

付　録　71

付録 1　HS302P 接点仕様 72
付録 2　HS302P 製品仕様 75
付録 3　工場出荷時設定内容 76
付録 4　端末設定メモ 77
付録 5　ソフトウェア使用許諾契約 兼 利用規約 80

はじめに

本書の使い方

この度は、HomeSeismo HS302P（以下 HS302P）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、緊急地震速報を受信する装置です。
本書では、HS302P をお使いいただく上で必要となる基本事項の説明を記載しております。ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、HS302P を安全に使用し、かつ本来の性能を十分に発揮するために、正しくお取り扱い下さい。
また、お読みになった後は、本書を大切に保管し、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお読み下さい。

登録などで解らなくなった時には

ご使用中に故障と思われる現象が生じた場合は、まず本書を参照して、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。
現象が改善されない場合は、お買い上げいただきました販売店・代理店等へお問い合わせいただくか、HomeSeismo 用 web サイトをご覧下さい。

詳細につきましては、弊社 WEB サイトをご覧下さい。
URLhttp://www.a-2.co.jp/homeseismo/

本書の表記について

注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
メモ	この表示は、HomeSeismoを十分にご活用いただくための情報を表しています。

※本書では、「ネットワーク」を「IP（インターネットプロトコル）ネットワーク」という意味で使用します。

注意点

○ 緊急地震速報の特性と注意点

・緊急地震速報を適切に活用するためには、技術的な特性や限界を十分に理解する必要があります。
・緊急地震速報の発報から地震波が到達するまでの時間は、極めて短い時間の場合があります。
・震源に近い場所(いわゆる直下型地震)では地震波到達までに緊急地震速報が間に合わないことがあります。
・予測された震度、到達時間に誤差を伴う場合があります。
・観測点の落雷、事故、機器の故障等により誤報を発報する可能性があります。
・緊急地震速報は地震による被害の軽減を目的とするものであり、利用者の財産の保全や生命を保証するものではありません。
・本製品の設置に伴い、地震を想定した避難、防災訓練を定期的に実施して下さい。
・弊社より提供される機器について、機器の故障、プログラムの不具合等により緊急地震速報の遅延または未達の可能性を含んでおります。
・本製品の使用によって発生した、いかなる損害およびそのほかの費用については一切の補償はいたしません。

○ HomeSeismo　運用時の注意点

・HomeSeismo は以下の条件の場合は地震速報を出さない仕様になっておりますのでご注意下さい。
震央までの距離が 2000km より大きい場合
マグニチュードデータが含まれていない場合

その他の注意点については、「安全上のご注意」(2 ページ)をご参照下さい。
・P 波検知については生活振動ノイズによる誤動作が起きる可能性があります。
技術的な限界をご理解の上ご利用お願いします。

> ⓘ注意　　設置場所について
>
> 設置場所については、「3.2.1 設置する」(35 ページ)をご確認ください。

第1章　*ご使用前の準備*

HomeSeismo の設置前に知っておいていただきたい事項を説明します。

1.1　付属品の確認

1.1.1　付属品の確認

1.1.2　SW（緑のスイッチ）について

（動作確認、再起動、メンテナンスモード）

1.2　各部の名称と働き

1.2.1　HS302P 本体(フロント)

1.2.2　HS302P 本体（リア）

1.3　LED（ランプ）の動作について

1.1　付属品の確認

1.1.1　付属品の確認

本製品開梱後、次の付属品がすべて揃っているかご確認下さい。万一付属品が不足しているときは,お買い上げの販売店・代理店までご連絡下さい。

No	品名	数量	備考
1	HomeSeismo HS302P本体	1	
2	LANケーブル(10BASE-T)	1	3m(CAT5、ストレート)
3	取扱説明書(本書)	1	
4	保証書(本書)	1	
5	シリアルシール	1	保証書用シール
6	ナベタッピングネジ	3	ネジ止め用（サイズ：M4×16mm）
7	インシュロック	1	押し込みタイプ
8	音声確認用スピーカ	1	サンプル品ですので形状や仕様が変更される場合があります。（サポート保証外）

1.1.2　SW（緑のスイッチ）について（動作確認、再起動、メンテナンスモード）

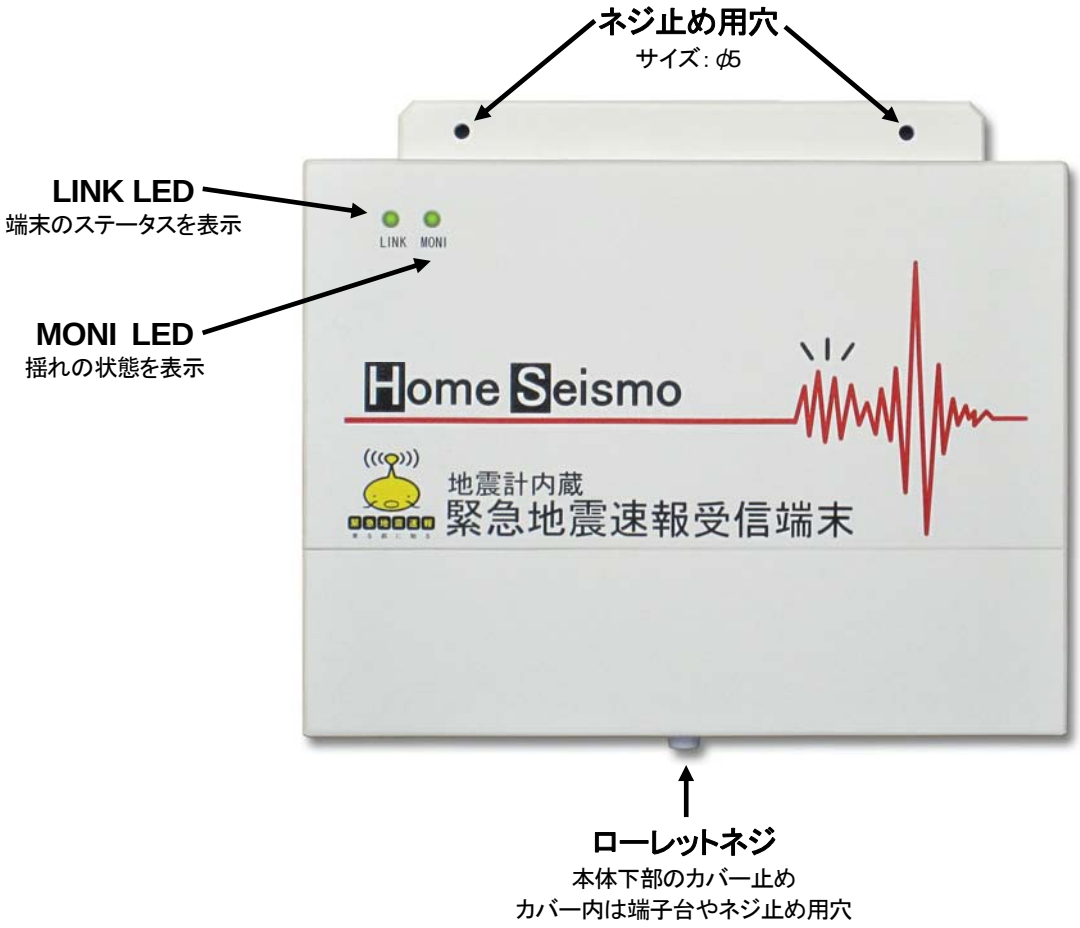
- **動作確認（試験放送）**
  SW を 1～2 秒押すと、音声出力と接点出力の動作確認が行えます。
  端末設定画面の動作確認と同じ動作確認です。
  詳しくは「4.2.3　動作確認」（61 ページ）をご覧ください。

- **再起動**
  SW を LINK・MONI LED が赤の速い点滅になるまで（約 5 秒）押し続けると、端末が再起動します。
  起動するまで電源を切るなどの操作は行わないでください。

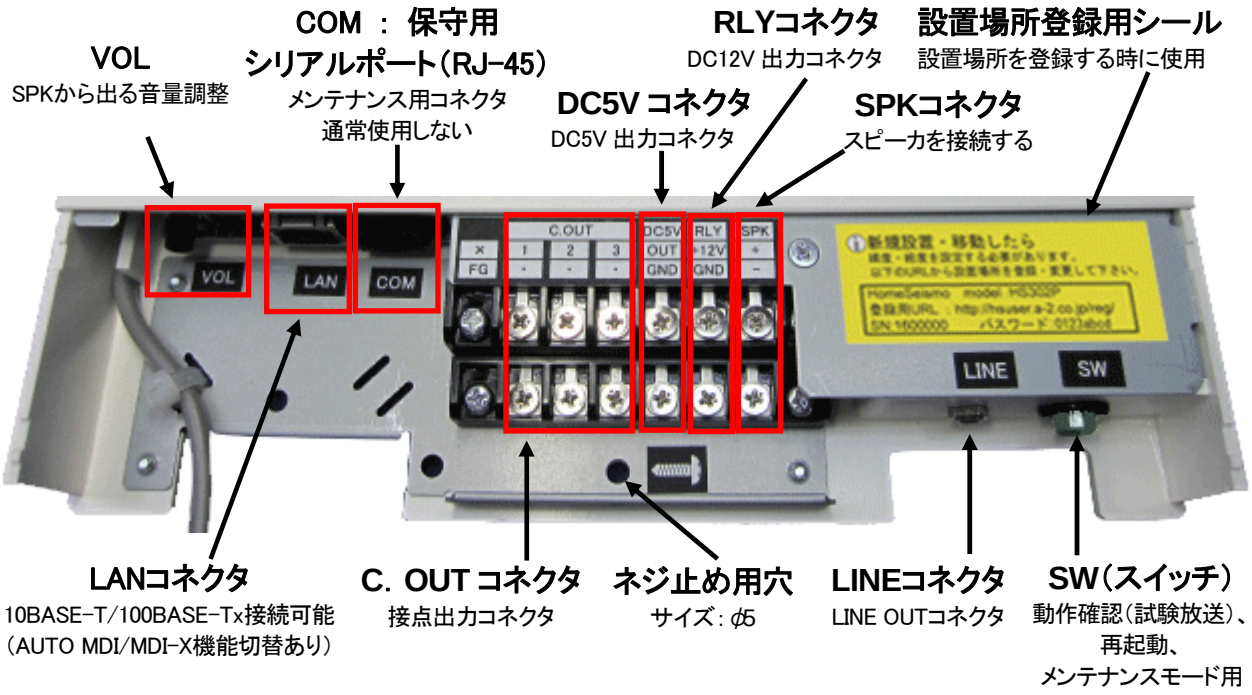
- **メンテナンスモード**
  SW を押しながら端末を起動させると（LINK・MONI LED が橙の速い点滅になるまで）、メンテナンスモードになります。
  解除する場合は端末を再起動させてください。
  詳しくは「4.1.4　メンテナンスモードの場合」（46 ページ）をご覧ください。

1.2　各部の名称と働き

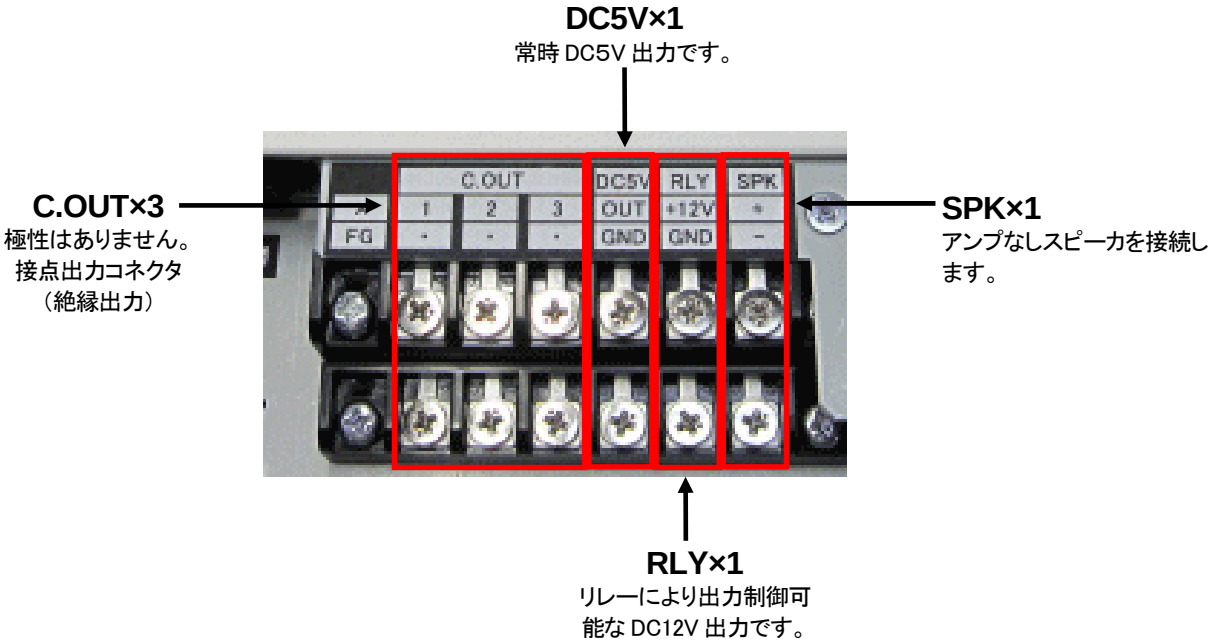
1.2.1　HS302P 本体(フロント)



1.2.2　HS302P 本体（下部カバー内）



【接点コネクタの説明】

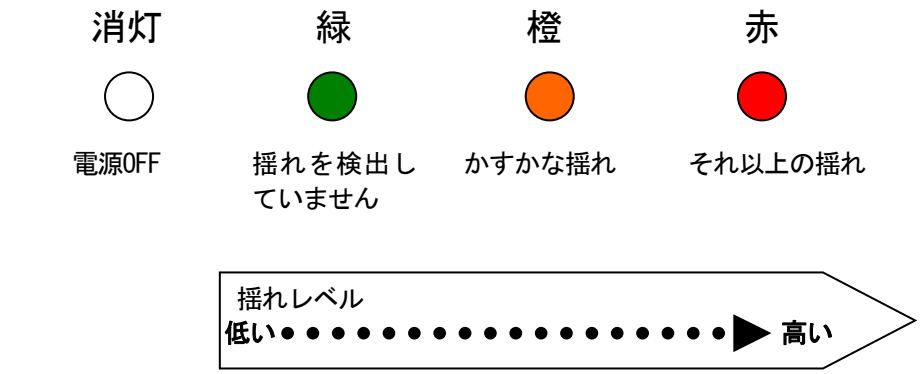


1.3　LED(ランプ)の動作について

LED の動作について説明します。

<table>
<tr><th rowspan="2">HomeSeismoの状態</th><th colspan="2">LEDの動作</th></tr>
<tr><th>MONI</th><th>LINK</th></tr>
<tr><td>電源OFF</td><td>消灯</td><td>消灯</td></tr>
<tr><td>電源投入時</td><td colspan="2">起動が完了するまで両方のLEDの色が変化します。しばらくしてからLEDが緑色に点灯します</td></tr>
<tr><td>待機状態</td><td rowspan="11">揺れのレベル
〈*メモ〉</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>緊急地震速報　受信中</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>試験放送中</td><td>緑</td></tr>
<tr><td>NETWORKケーブル未接続</td><td>赤の速い点滅</td></tr>
<tr><td>ローカルIPアドレス未割り当て</td><td>赤の遅い点滅</td></tr>
<tr><td rowspan="2">センターとの接続が未完了</td><td>橙の遅い点滅</td></tr>
<tr><td>緑の点灯だが、一時的に橙の遅い点滅になる</td></tr>
<tr><td>新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行っていない</td><td>緑と橙が交互に点滅</td></tr>
<tr><td>端末とサーバ間のリンク状態が切れている時</td><td>緑の遅い点滅</td></tr>
<tr><td>ルータがセンターとの切断/接続を繰り返す設定になっている時</td><td>緑点灯/緑の遅い点滅を繰り返す</td></tr>
<tr><td>メンテナンスモード</td><td>橙の速い点滅</td><td>橙の速い点滅</td></tr>
</table>

メモ　MONI　LEDの揺れの検出時の動作について



メモ　　LED 異常時の解決方法

製品フロントの LED が異常時の状態を表しているときには、ケーブルが正しく接続されているか、ルータ等の電源が入っているか、ご確認をお願いします。また、それでも改善されない場合は、ネットワーク管理者または販売店までお問い合わせ下さい。

LED の対応方法については、WEB ページにて公開しております。
http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/led.html

第2章　*HomeSeismo の動作について*

HomeSeismo の動作についてのご案内です。

2.1　HomeSeismo の動作について

2.1.1　緊急地震速報受信（通常）

2.1.2　緊急地震速報受信（複数の地震発生時）

2.1.3　緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知

2.1.4　試験放送 及び 気象庁 訓練報

2.1　HomeSeismo の動作について

2.1.1　　緊急地震速報受信（通常）

緊急地震速報は一つの地震に対して複数回送信され、情報が更新されていきます。情報が更新されると、ホームサイスモでお知らせする震度・猶予時間も更新されます。 ※小さくなった予想震度を除く。

設定した発報震度の閾値を越え発報が開始された後、震度が変更され閾値を下回っても、発報震度を変更したり、発報を中断したりしません。

また、猶予時間が 0 秒以下であっても、発報震度の閾値を越えていれば発報を行います。

2.1.2　　緊急地震速報受信（複数の地震発生時）

複数の地震の緊急地震速報を受信した場合、「最も大きく到達する地震の予測震度」と「最も早く到達する地震の猶予時間」をお伝えします。

これは、1 つの地震の到達後に、もっと大きな地震が到達する場合、大きな地震に合わせた避難行動を取っている必要があると考えているためです。

一つの地震到達後は、「続いて地震が到達します」というアナウンスが流れ、後から到達する地震の通知を再開します。

2.1.3　　緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知

内蔵地震計機能を有効としている場合、緊急地震速報と内蔵地震計での P 波検知の、より早く検知・受信した方を採用します。

緊急地震速報の方を早く受信した場合（主に震源地が遠い場合）は、緊急地震速報のガイダンスが流れ、内蔵地震計での P 波検知は無視されます。

内蔵地震計の P 波検知が早かった場合（主に直下地震）は、P 波検知のガイダンスが流れ、緊急地震速報を受信するとガイダンスは緊急地震速報へ切り替わります。

2.1.4　　試験放送 及び 気象庁 訓練報

試験放送 及び 気象庁 訓練報は、通常ガイダンスの前に「ただ今から緊急地震速報の試験放送を行います」、最後に「これで試験放送を終わります」が流れます。

試験放送 及び 気象庁 訓練報中に本物の緊急地震速報が配信された場合、「試験放送解除、緊急地震速報」というアナウンスが流れ、本物の緊急地震速報を発報します。

第3章　*設定から新規ユーザ登録まで*

HomeSeismo の設定から新規ユーザ登録までのご案内です。
http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow1.html でもご案内しております。

HomeSeismo を使用されるネットワーク環境によって流れが異なります。

HomeSeismo のネットワーク設定は下記 4 項目となります。

- IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）
- IP アドレス指定
- （フレッツ網）IPv6 アドレス自動設定
- （フレッツ網）IPv6 アドレス指定

※出荷時の設定は「IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）」です。
DHCP でご使用の場合は、「3.2 設置・接続をする」にお進みください。

3.1　HomeSeismo の設定をする
3.1.1　HomeSeismo をメンテナンスモードで起動する
3.1.2　LAN ケーブルでパソコンと HomeSeismo を接続する
3.1.3　パソコンのネットワーク設定を行う
3.1.4　HomeSeismo のネットワーク設定を行う

3.2　設置・接続をする
3.2.1　設置する
3.2.2　ネットワークに接続する
3.2.3　出力機器を接続する

3.3　新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行う
3.3.1　新規ユーザ登録を行う
3.3.2　津波・噴火情報の受信設定を行う
3.3.3　試験放送を行う

3.1　HomeSeismo の設定をする

出荷時の設定は「IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）」です。
DHCP でご使用の場合は、「3.2 設置・接続をする」（35 ページ）にお進みください。

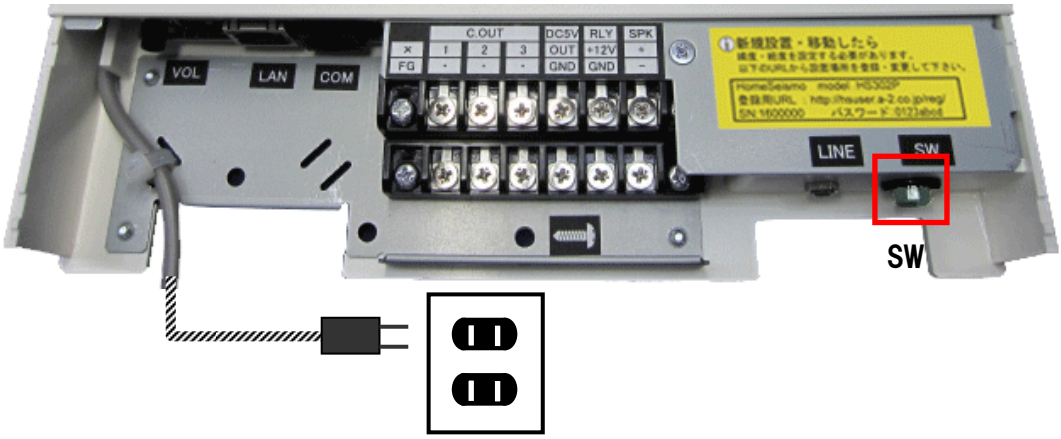
DHCP 以外でご使用の場合は、ネットワークに接続するために、端末をメンテナンスモードにして設定を行います。
メンテナンスモードで設定する場合は、HomeSeismo とパソコンを直接 LAN ケーブルで接続し、パソコンにネットワーク設定を行います。

3.1.1　HomeSeismo をメンテナンスモードで起動する

1. 本体下のローレットネジを手で外して、下部のカバーを取ります。

2. 「SW（緑のスイッチ）」を押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、端末を起動します。
LINK と MONI の LED が橙の速い点滅になったら、メンテナンスモードで立ち上がっているので、「SW」から手を離してください。

※すでに電源が入っている場合は、「SW」を押し続けると再起動するので、メンテナンスモードで立ち上がるまで「SW」を押し続けてください。



メモ　　メンテナンスモードの端末の IP アドレス

メンテナンスモードでは以下の設定となります。

IP アドレス：192.168.1.20
サブネットマスク：255.255.255.0

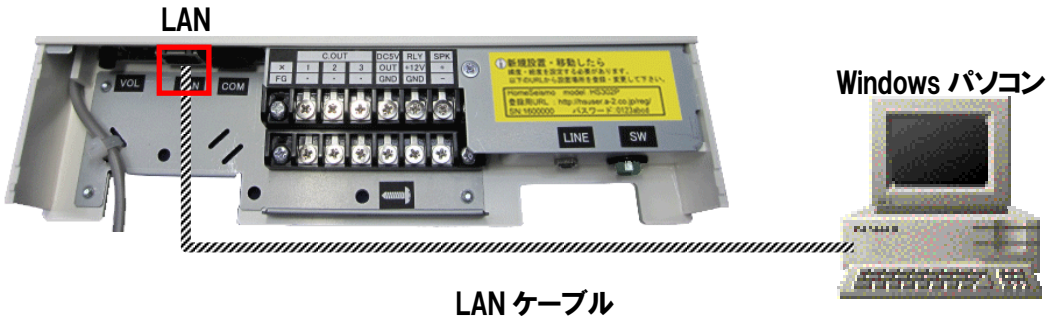
3.1.2　　LAN ケーブルでパソコンと HomeSeismo を接続する

注意　　他のネットワークの LAN ケーブルを抜いて下さい

すでにパソコンに他のネットワークの LAN ケーブルを接続している場合は、一旦 LAN ケーブルを抜いてください。パソコンのネットワーク接続は、間違えるとネットワーク全体に影響を及ぼすことがあります。

パソコンについては、ユーザ様で各自準備をしてください。

1. パソコンの電源を入れます。
2. パソコンと端末を LAN ケーブルで直接つなぎます。
（LAN ケーブルはクロスである必要はありません）



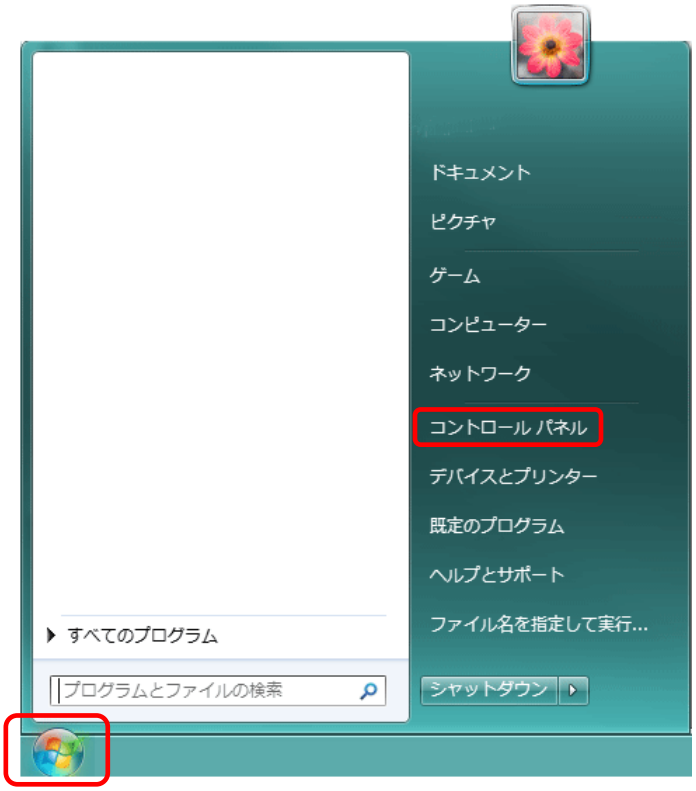
3.1.3　パソコンのネットワーク設定を行う

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。
設定方法は OS によって異なります。
弊社で動作確認した Windows 7、Windows Vista について載せておりますので、お使いの OS に該当するページをご覧ください。

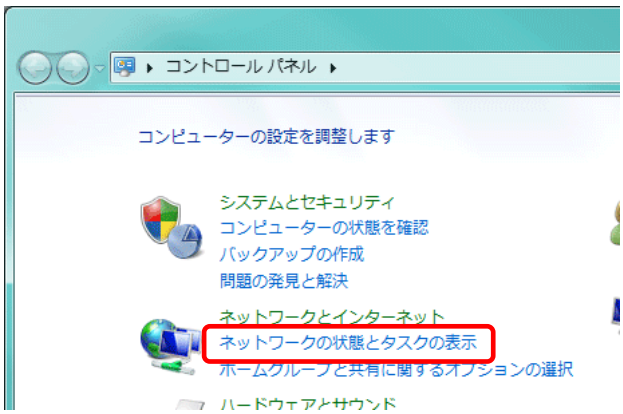
Windows 7 の場合

この作業を行うには、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。
以下の操作手順および表示画面は Windows7 の設定によって異なる場合があります。

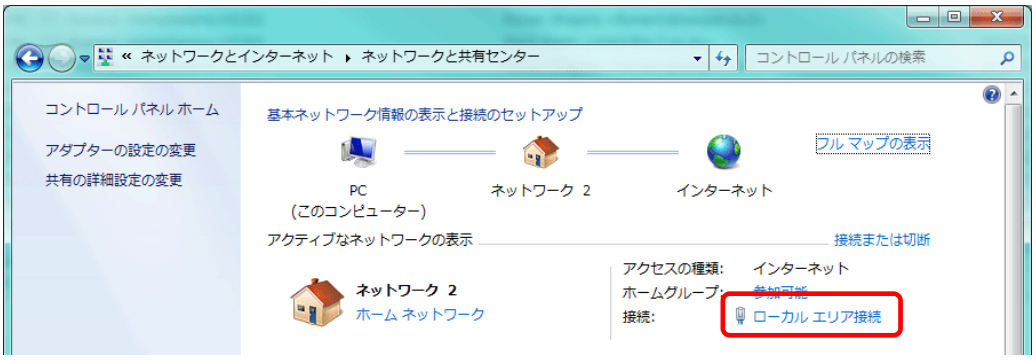
1. 「スタート（旗マーク）」→「コントロールパネル」をクリックしてください。



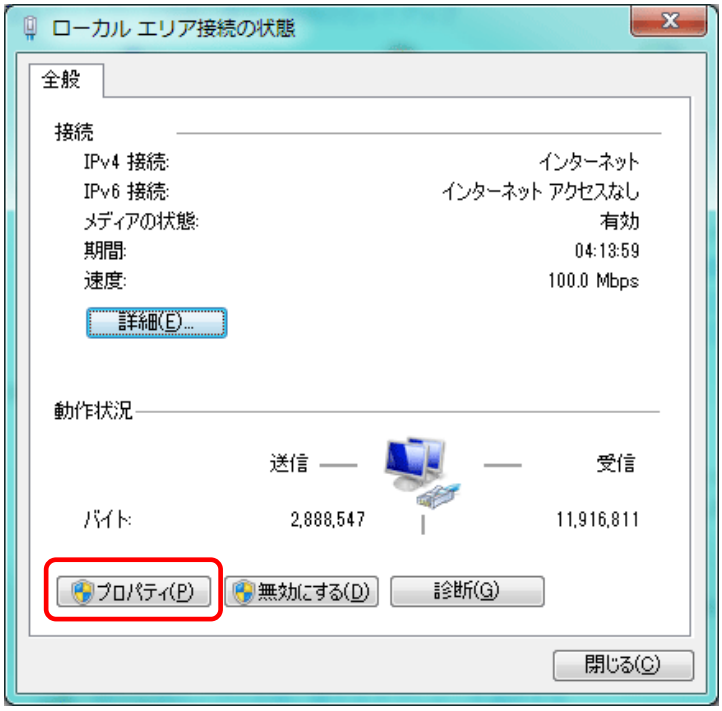
2. カテゴリ表示の場合は「ネットワークの状態とタスクの表示」を、大きいアイコンや小さいアイコン表示の場合は「ネットワークと共有センター」をクリックしてください。



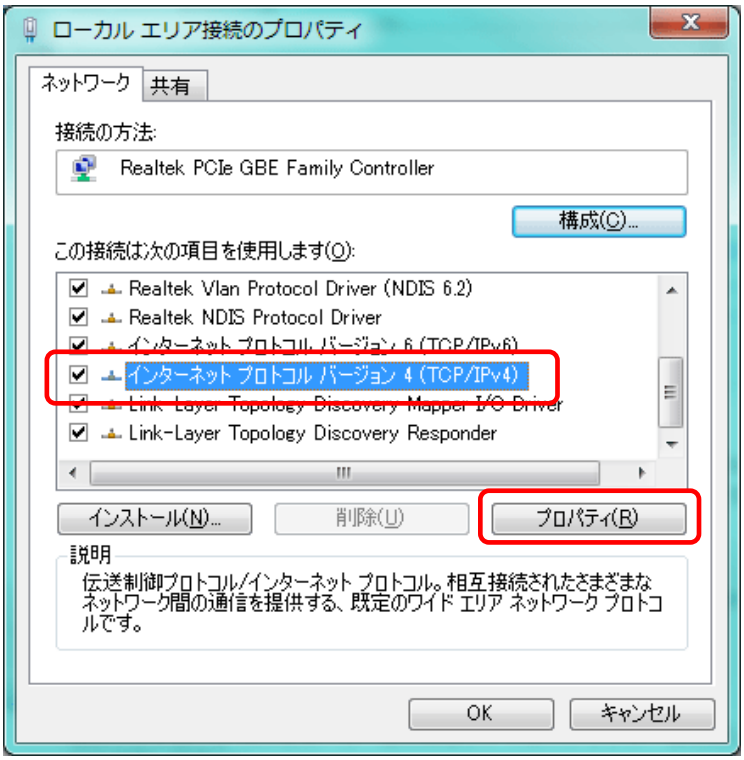
3. 「ローカルエリア接続」をクリックしてください。



4. 「ローカルエリア接続の状態」画面から「プロパティ(P)」をクリックしてください。
（※ケーブル等が接続されていない場合など、ネットワークに接続されていない場合はこの画面は表示されません）



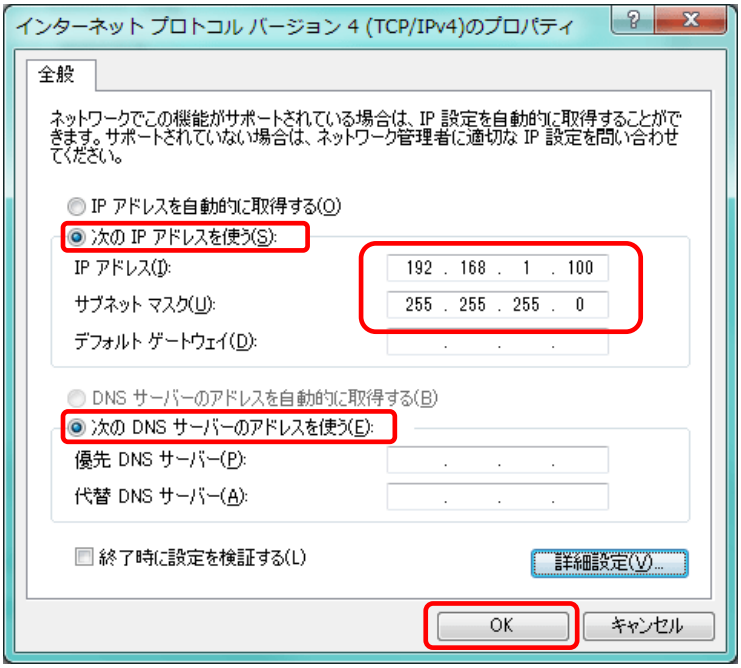
5. 「インターネットプロトコル　バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。
LAN アダプタが正常に接続されている場合、ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。



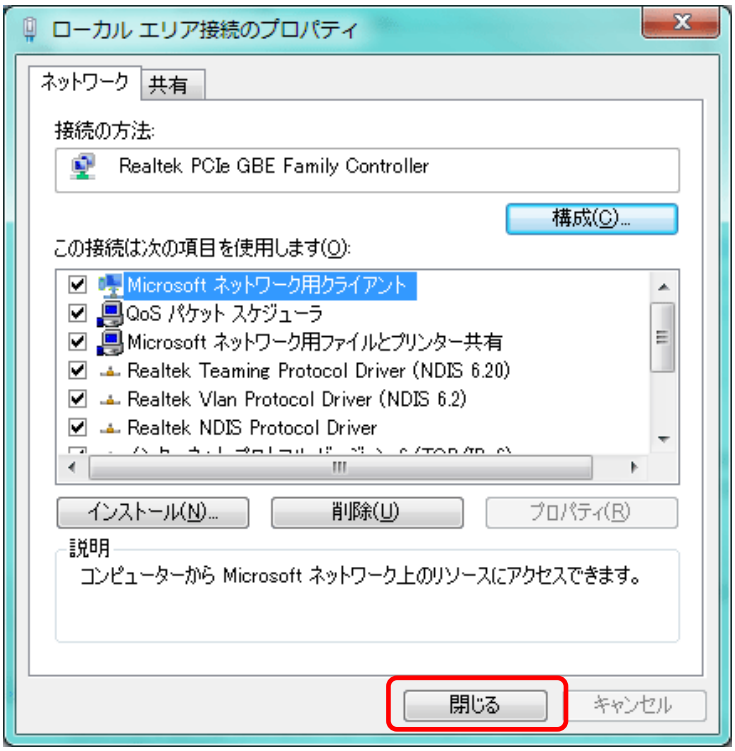
> ⓘ注意　　現在のパソコンの設定を控えておいて下さい
>
> 端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいて下さい。

6. 「次の IP アドレスを使う(S)」と「次の DNS サーバのアドレスを使う(E)」をクリックして以下の値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについての値は必要ありません。
入力したら「OK」をクリックします。

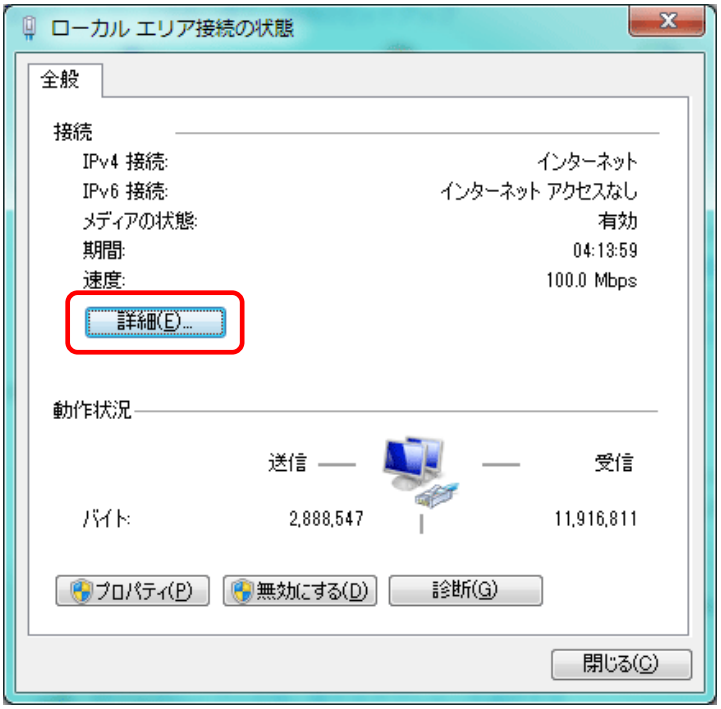
IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	設定なし
優先 DNS サーバ	設定なし
代替 DNS サーバ	設定なし



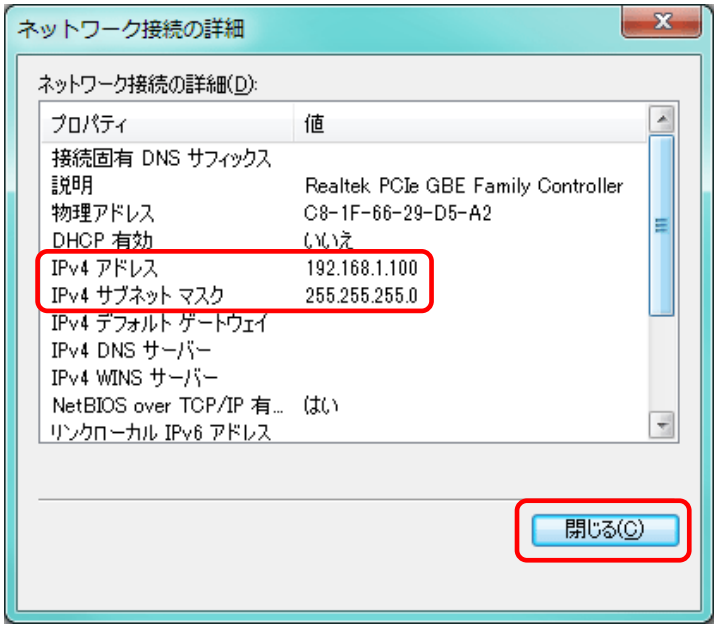
7. 「閉じる」を押してローカルエリア接続のプロパティを閉じます。



8. 【確認】「ローカルエリア接続の状態」画面の「詳細(E)」をクリックします。
「ローカルエリア接続の状態」画面を閉じてしまっている場合は、再度「スタート」→「コントロールパネル」…とアクセスしていってください。



9. IPv4 アドレスが「192.168.1.100」、IPv4 サブネットマスクが「255.255.255.0」になっていることを確認します。
「閉じる」ボタンをクリックします。

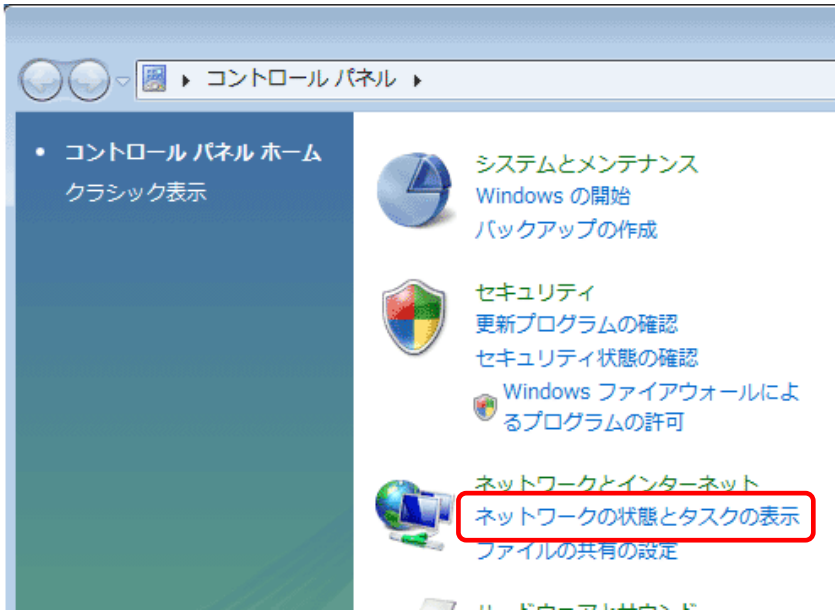


Windows Vista の場合

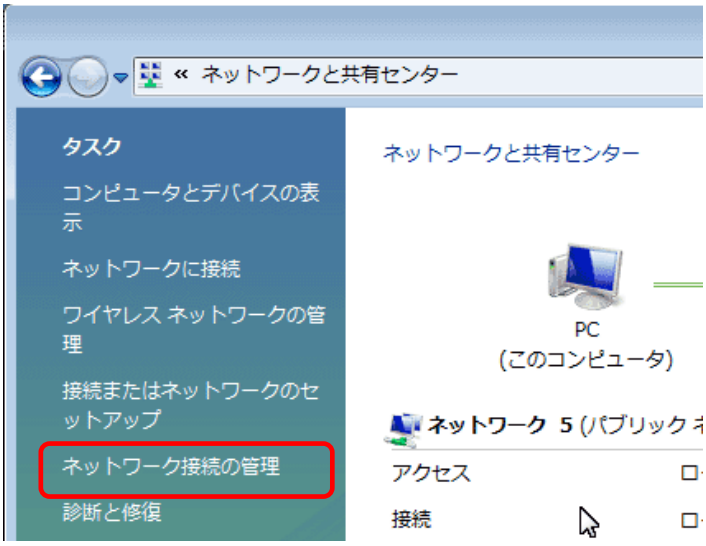
この作業を行うには、「コンピュータの管理者」または同等の権限を持つユーザでログオンする必要があります。
以下の操作手順および表示画面は Windows Vista の初期状態の場合です。
Windows Vista の設定によっては異なる場合があります。

1. 「スタート（旗マーク）」→「コントロールパネル」をクリックしてください。

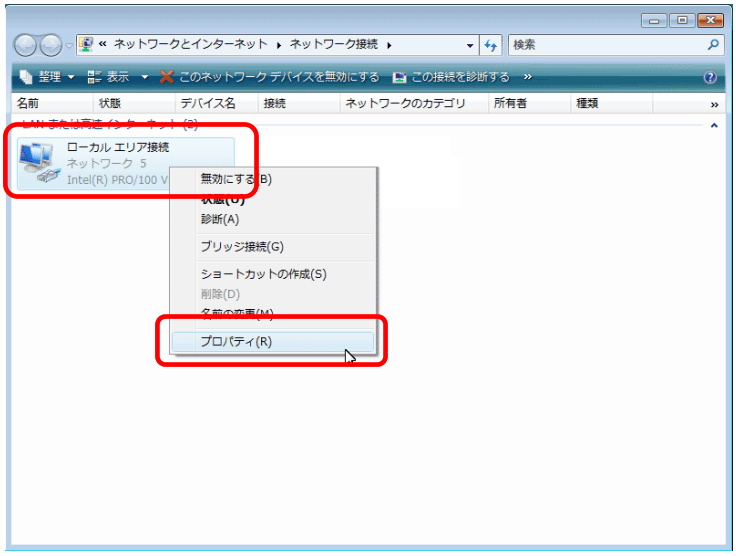
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックしてください。



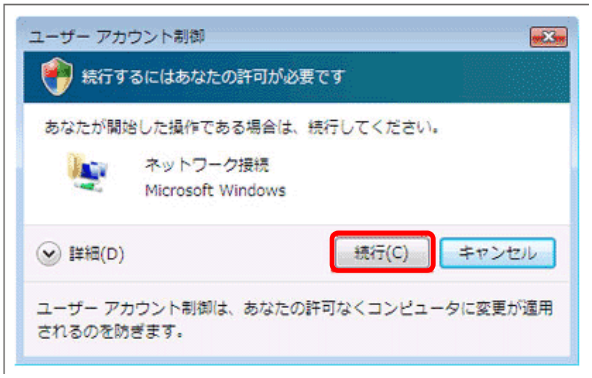
3. 「ネットワークと共有センター」左側メニューの「ネットワーク接続の管理」をクリックしてください。



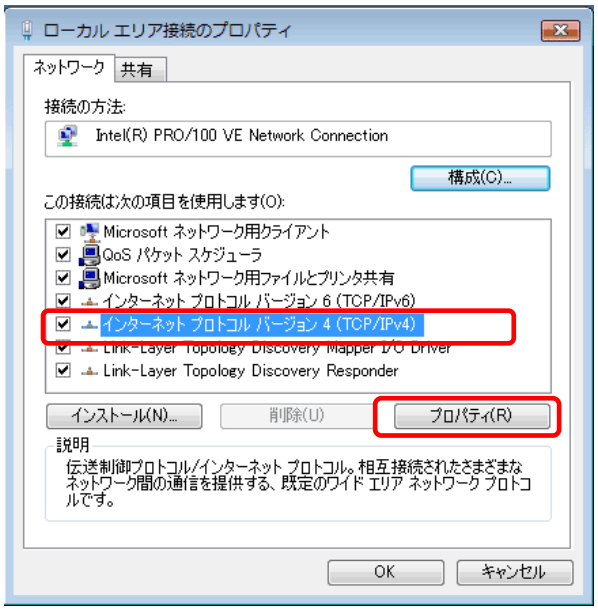
4. ローカルエリア接続を右クリックして「プロパティ」を選択します。



5. Vista の「ユーザアカウント制限」ウィンドウが表示される場合は「続行」をクリックしてください。



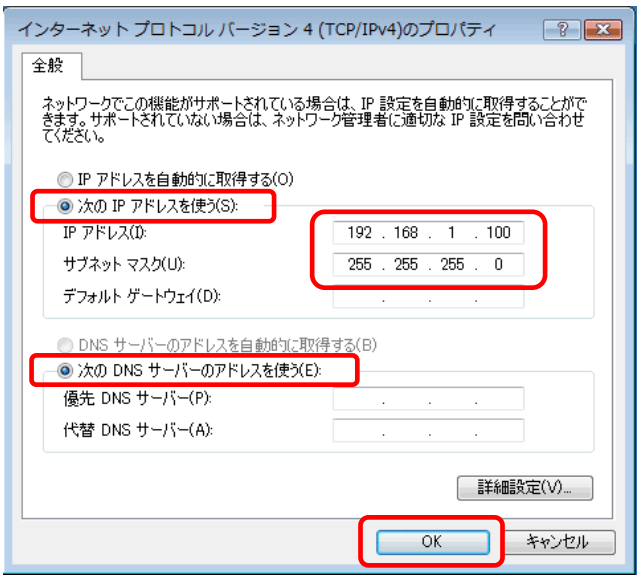
6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選択し、「プロパティ（R）」をクリックします。



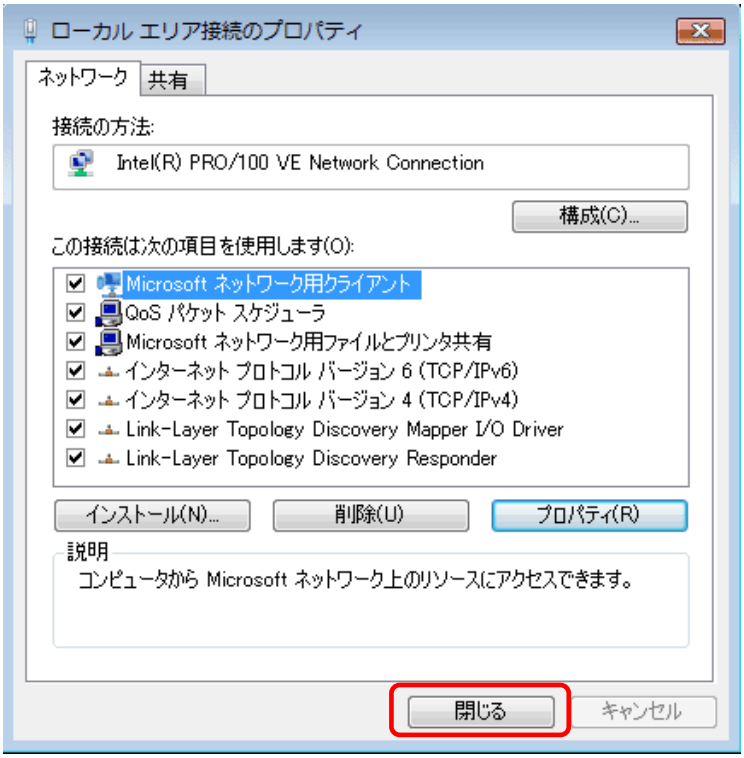
> ⓘ注意　　現在のパソコンの設定を控えておいて下さい
>
> 端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいて下さい。

7. 「次の IP アドレスを使う（S）」と「次の DNS サーバのアドレスを使う（E）」をクリックして以下の値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについての値は必要ありません。
入力したら「OK」をクリックします。

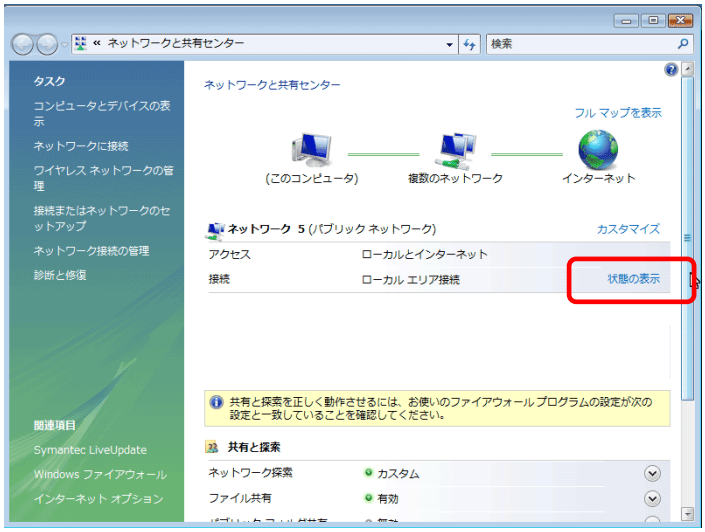
IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	設定なし
優先 DNS サーバ	設定なし
代替 DNS サーバ	設定なし



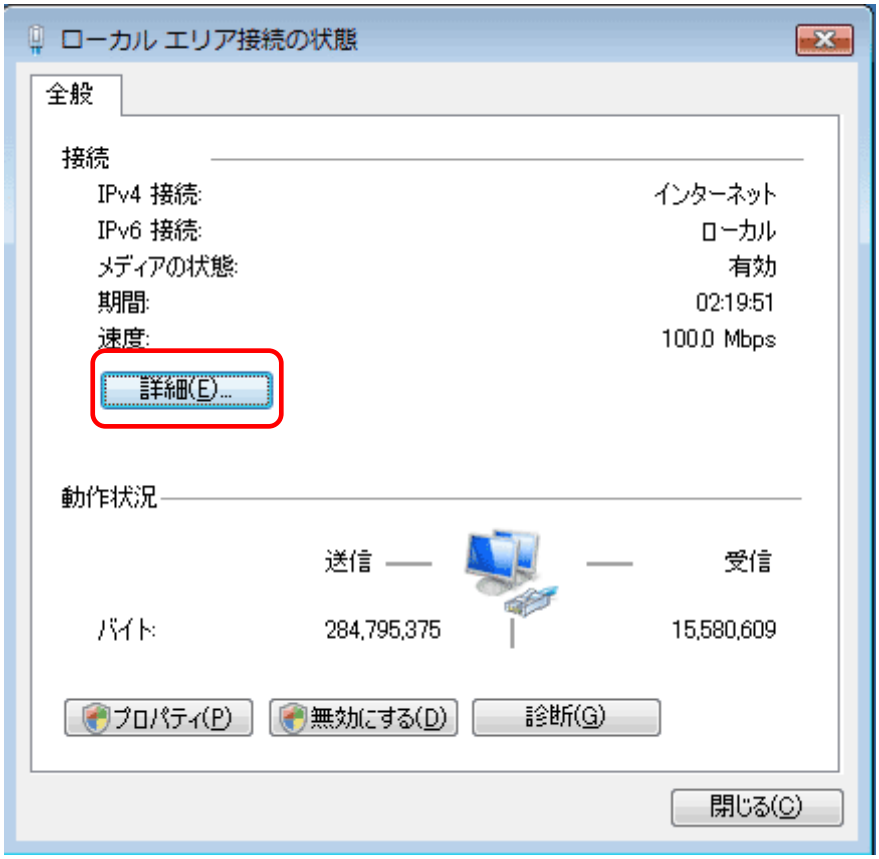
8. 「閉じる」をクリックしてウィンドウを閉じます。



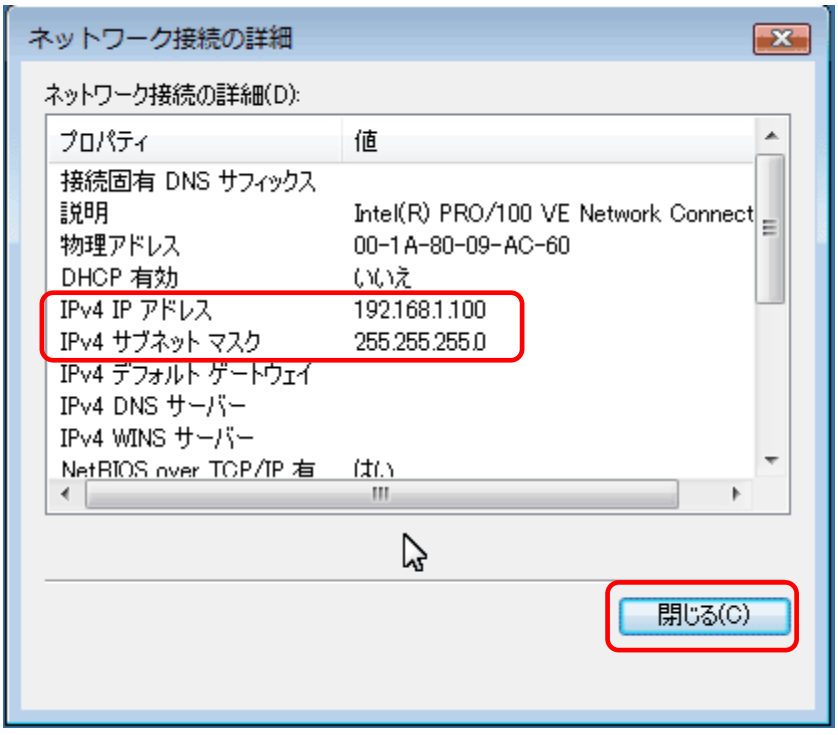
9. 【確認】「ネットワークの共有センター」の「状態の表示」をクリックしてください。
「ネットワークの共有センター」のウィンドウを閉じてしまっている場合は、再度「スタート」→「コントロールパネル」からアクセスしてください。



10. 「ローカルエリア接続の状態」画面から「詳細(E)」をクリックしてください。



11. IPv4 アドレスが「192.168.1.100」、IPv4 サブネットマスクが「255.255.255.0」になっていることを確認します。
「閉じる」ボタンをクリックします。



3.1.4　HomeSeismo のネットワーク設定を行う

WEB ブラウザで、端末設定画面へアクセスします。

1. Internet Explorer 等 Web ブラウザを開きます。
   ※ネットワークと接続されていないので、「サーバーが見つかりません」になります。

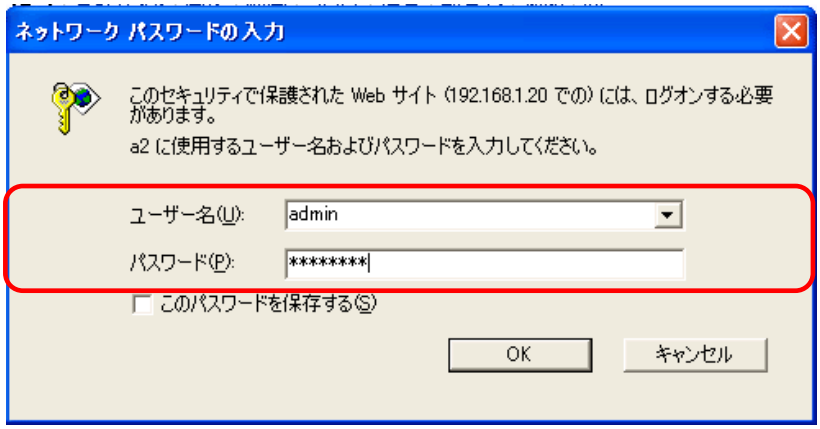
2. 下記アドレス（半角小文字）をブラウザへ入力し、キーボードの「enter」を押します。

   http://192.168.1.20:9090/

   ※メンテナンスモードのアドレスです。ネットワーク設定を行った後の端末設定画面へのアクセスの場合は、
   「第 4 章　HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください。

3. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】（パスワード：0123abcd） →端末に貼られている黄色いシールイメージ



※パスワードについては、セキュリティの問題上、「*」で表示されます。

4. 「設定変更」をクリックしてください。

5. 「設定変更」画面でネットワークの設定と、その他設定したい項目を入力し、登録ボタンをクリックしてください。

ネットワーク設定は下記 4 項目から一つを選択してください。
設定については使用するネットワークの管理者へ確認してください。

〇IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）
工場出荷時の設定となります。

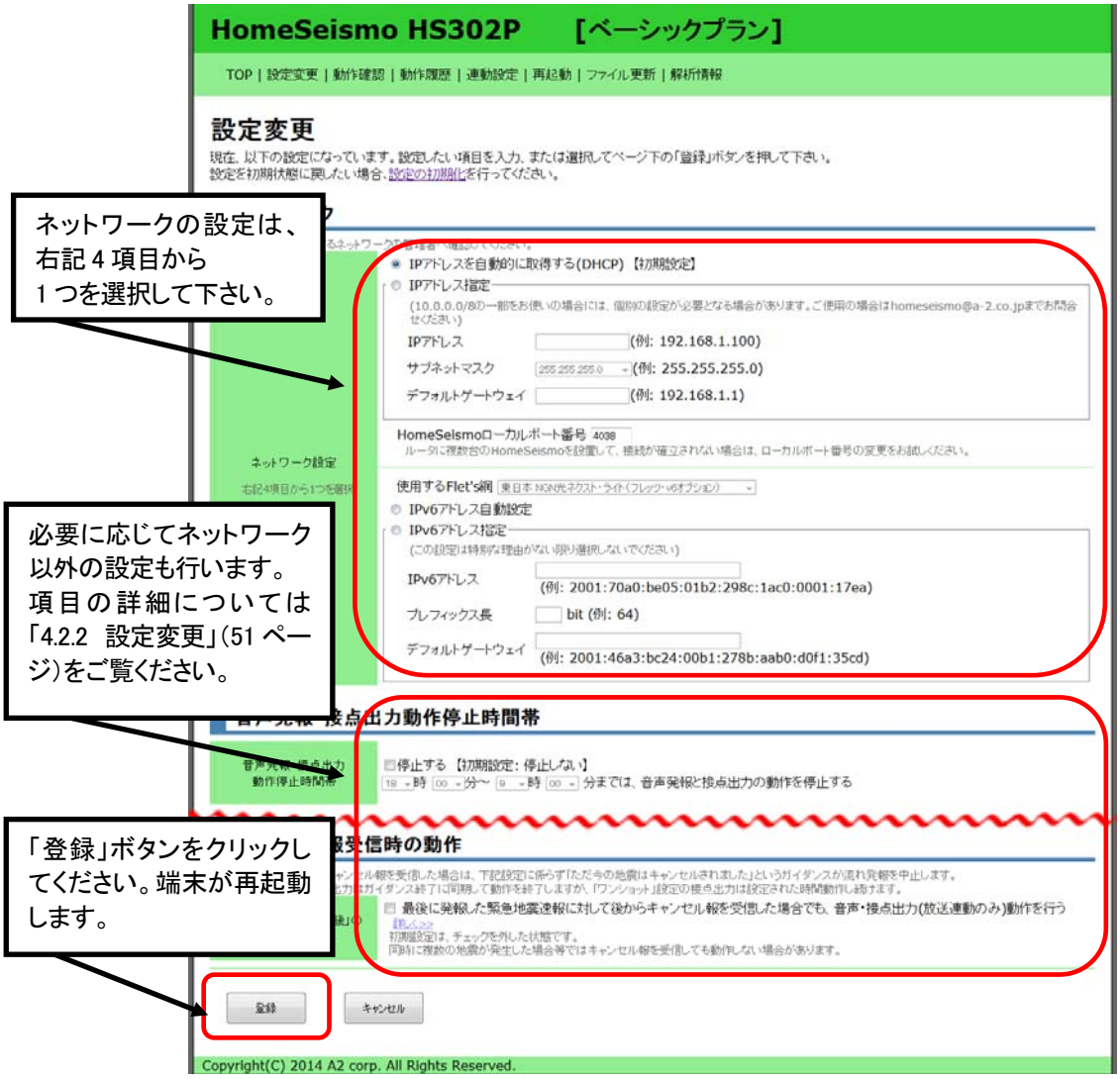
〇IP アドレス指定
端末に割り振る IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。次回からの端末設定画面アクセスに、ここで設定した IP アドレスが必要となります。本書巻末「付録 4　端末設定メモ」へ記入をお願いします。
※10.0.0.0/8 の一部をお使いの場合には、個別の設定が必要となる場合があります。ご使用の場合は homeseismo@a-2.co.jp までお問合せください。

〇（NTTフレッツ網）IPv6 アドレス自動設定
NTTフレッツ網をご選択の上、本設定を選択してください。
・東日本　NGN 光ネクスト・ライト（フレッツ・v6 オプション）
・西日本　NGN 光ネクスト・ライト(フレッツ・v6 オプション）
・西日本　B フレッツ・ADSL（フレッツ・v6 アプリ）・光プレミアム
フレッツ網（IPv6）に接続していないパソコンで端末設定画面へアクセスする場合は、端末をメンテナンスモードにする必要があります。ネットワークの設定時に、他の設定も行ってしまうことをお勧めします。

○（NTTフレッツ網）IPv6 アドレス指定

特別な理由がない限り選択しないでください。

NTT フレッツ網をご選択の上、端末に割り振る IPv6 アドレス、プレフィックス長、デフォルトゲートウェイを設定します。



6. 設定変更の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

7. 設定変更中の画面が表示されます。
   端末が再起動を行い、起動すると LINK ランプは赤や橙の遅い点滅になります。
   それまでは電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。

8. 端末をネットワークに接続します。
   パソコンから LAN ケーブルを外し、外した LAN ケーブルを HUB またはルータなどのネットワーク機器に接続してください。
   センターとのリンクが確立すると、LINK ランプは緑と橙の交互点滅（新規ユーザ登録が未登録）になります。
   （LED の詳細については 14 ページ）
   LINK ランプが緑と橙の交互点滅にならない場合は、ネットワーク管理者または購入元までお問い合わせください。

9. これで設定は終了です。右上の「×」ボタンで画面を閉じてください。
   ※再度端末設定画面へアクセスしたい場合は、
   「第 4 章　HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください。

10. パソコンのネットワーク設定を戻してください。
    また、次の項目である「端末設置」の際にはケーブル類を全て外していただくと楽に設置できます。
    尚、端末設置の際には電源を入れないでください。
    電源を入れたまま端末を動かすと、内蔵地震計が正しく動作しません。
    電源を入れたまま設置を行った場合は、端末を再起動してください。

3.2　設置・接続をする

3.2.1　　設置する

端末設置の際には電源を入れないでください。

付属のネジを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁です。
HomeSeismo HS302P の本体の重量は約 1.04kg、サイズは 236(W)×198(D)×33(H)mm（突起物含まず）です。

注意　　ネジについて

付属のネジでは取付け不可能な壁への設置は、お客様でネジをご用意ください。その際両面テープ式や吸盤式は落下する危険がありますので使用しないでください。

1. 端末を取り付ける場所を決めてください。
   内蔵地震計を適切に活用するために、技術的な特性や限界を充分理解の上、以下のような場所へ設置をお願いします。

   ・端末上部にある「MONI」という揺れに反応する LED ランプが緑点灯になるところ
   ・強固な壁
   ・建物の柱

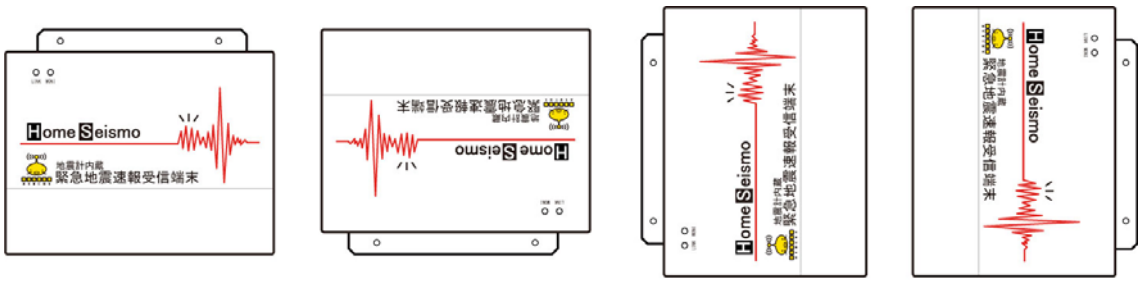
   以下のような「振動が多い場所」へは設置しないで下さい。
   （振動が多いと、地震計へ影響し感度が悪くなります）

   ・[MONI]が橙・赤になる所
   ・冷蔵庫・空調設備・洗濯機・プリンター・電子レンジの近く
   ・音響機器(スピーカ等)の近く
   　※スピーカは振動しますので、端末の上へスピーカを置かないで下さい。
   ・テーブル、棚やラックの上、固定されていない棚など不安定な場所
   ・テレビやラジオの近く
   ・パーテーションなどの固定されていない物
   ・柱や筋交いがない壁
   ・周囲に振動の発生源がある場所(発電機や工作機械の間近)

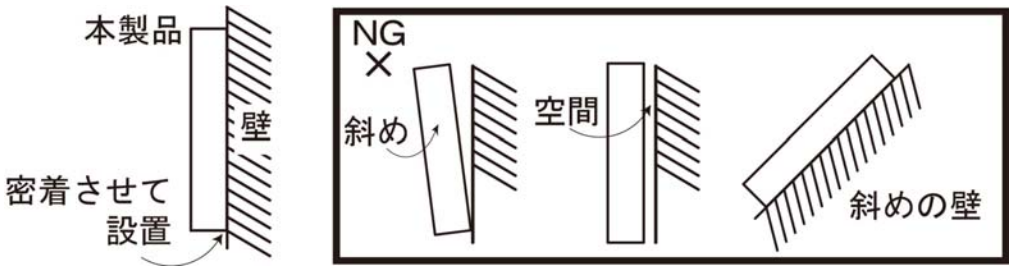
注意　　安全上のご注意について

安全上のご注意（2 ページ）についてもご確認ください。

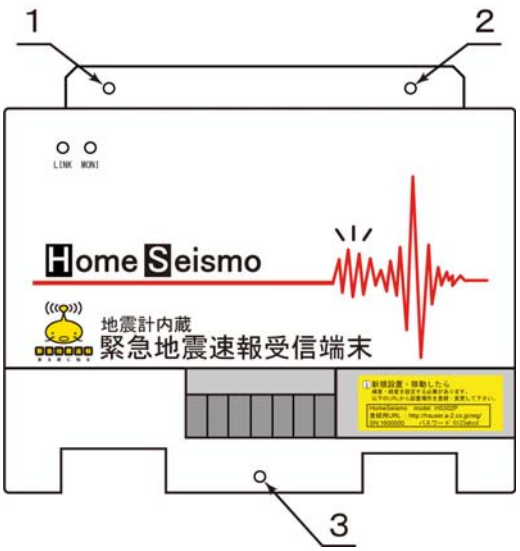
2. 壁掛けの場合、取り付ける向きを決めてください。



3. 取り付ける壁、床と端末を密着させてください。
壁からは浮いたりしないようにしてください。



4. ネジ止めを行ってください。
・1 の穴をネジで固定してください。
・垂直になるように調整して、2 の穴を固定します。
・3 の穴を固定してください（3 の穴は本体下部のカバー内にあります）

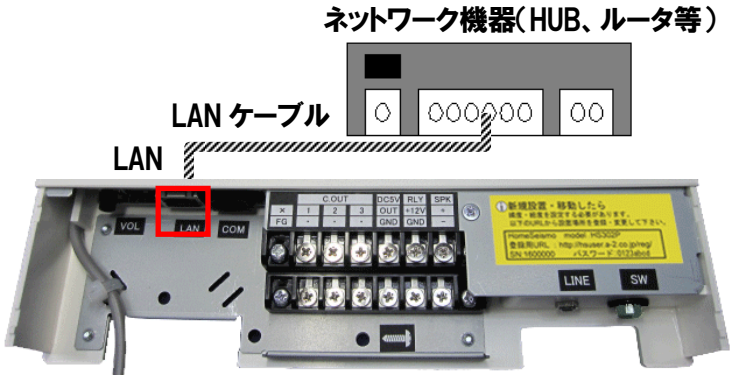


※取付け後、端末を上下左右に軽く動かして、がたつきがなく確実に固定されていることを確認してください。
※設置の際に電源を入れていた場合は、端末を再起動してください。電源を入れた後に端末を動かすと、内蔵地震計が正しく動作しません。
※壁掛けで設置する場合には、ケーブル類は壁に固定してください。ケーブル類が固定されずにぶら下がっている状態だと、ケーブルの揺れで内蔵地震計が誤動作を起こす可能性があります。

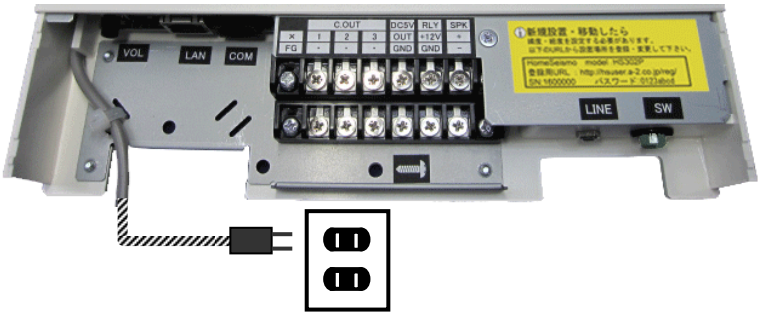
> ⓘ注意　　内蔵地震計について
>
> 電源を入れたまま端末を動かすと、内蔵地震計が正しく動作しません。
> 電源を入れたまま設置を行った場合は、端末を再起動してください。

3.2.2　　ネットワークに接続する

1. 「LAN」に LAN ケーブルを差し込み、もう一方を HUB またはルータなどのネットワーク機器に接続してください。



2. 電源プラグをコンセントへ挿してください。



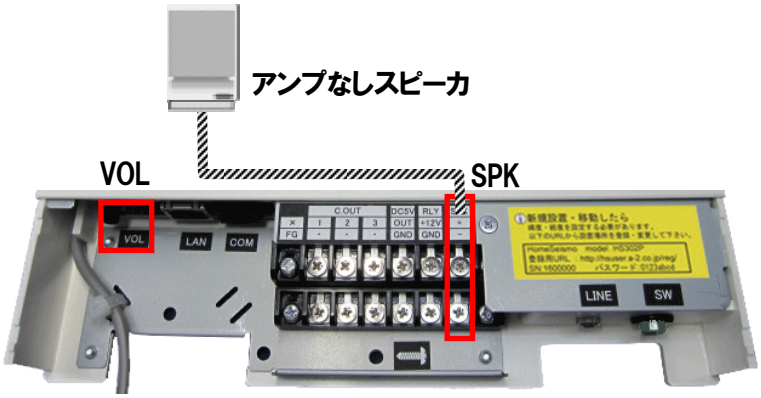
> メモ　　LINK LED（ランプ）を確認してください。
>
> センターに正しく接続されている場合は、電源投入後に LINK LED（ランプ）が「緑と橙が交互に点滅（新規ユーザ登録が未登録）」もしくは「緑色に点灯（新規ユーザ登録済み）」します。ご使用になる前に LINK LED が正しく点灯しているかご確認ください。
>
> LED の対応方法については、WEB ページにて公開しております。
> http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/led.html

3.2.3　出力機器を接続する

仕様と放送機器への接続の詳しくについては「付録 1　HS302P 接点仕様」)をご覧下さい。

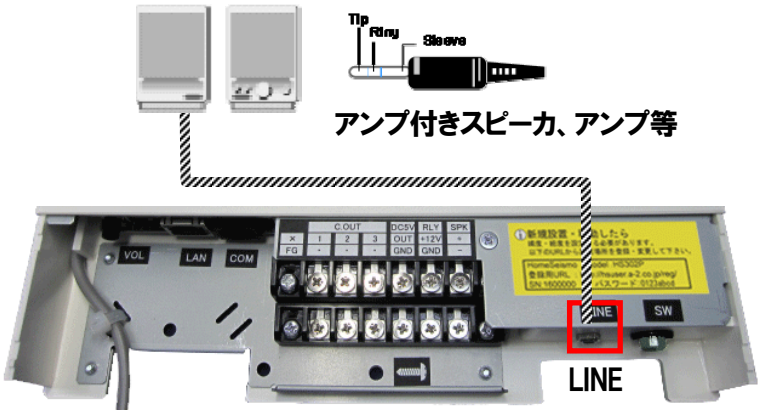
アンプなしスピーカと接続する場合

1. SPK にスピーカを接続してください。
2. ボリュームを「VOL」のツマミで調節してください（左回し小・右回し大）



館内放送と接続する場合

1. LINE を放送機器の音声入力端子と接続します。



2. LINE はアンプのあるスピーカを接続するためのコネクタですので、ボリュームは各機器で調節するか、HomeSeismo 端末設定画面にアクセスして調整してください（アクセス方法は「第 4 章　HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください）

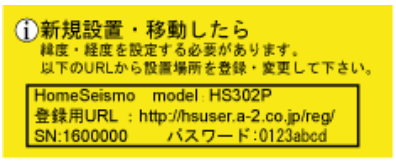
接点出力を利用したい場合

1. 「C.OUT」に機器を接続します。
   接点出力の設定を変更する場合は、HomeSeismo 端末設定画面にアクセスしてください（アクセス方法は「第 4 章　HomeSeismo 端末の設定変更」をご覧ください）

3.3　新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行う

3.3.1　　新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行う

1. 端末本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されている SN（シリアルナンバー）、パスワードを確認し、下記の表にご記載ください。



登録用 URL	http://hsuser.a-2.co.jp/reg/
SN（シリアルナンバー）	
パスワード(半角英数字 8 文字)	

2. 端末に貼られている黄色いシールに記載されている登録用 URL：http://hsuser.a-2.co.jp/reg/から、新規ユーザ登録（設置場所の登録）を行ってください。
詳細については新規ユーザ登録の各ページからリンクされている「登録方法はこちら」http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow5.html でご説明しております。ご不明点等がありましたら、WEB 上の「お問い合わせ」から弊社までお問い合わせください。

注意　　端末の接続状態を確認してから登録を行って下さい

再度、新規ユーザ登録を行った場合、ご登録されたユーザ名・パスワードは無効になるのでご注意ください。ユーザ登録を始める前に以下の点を確認して下さい。

・端末に電源ケーブルと LAN ケーブルが挿してあるか

・端末の LINK ランプが緑と橙が交互に点滅、もしくは緑に点灯しているか

上記が確認できない場合は、再度、電源・LAN ケーブル・ネットワークの接続を確認してください。
確認できない場合は下記 URL をご覧下さい。
http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow4.html

3.3.2　　津波・噴火情報の受信設定を行う

1. http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスしてください。
新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインし、津波・噴火情報の受信設定を行います。

設定方法は下記 URL をご覧ください。
http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow6.html

3.3.3　試験放送を行う

1. http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスしてください。
   新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインし、緊急地震速報の試験放送を行います。

   試験放送の方法は下記 URL をご覧ください。
   http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/flow7.html

第4章　*HomeSeismo 端末の設定変更*

※端末設定画面へのアクセスは端末のネットワーク設定によって異なります。
設定されているネットワークに該当するページをご覧ください。
http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/config.html でもご案内しています。

4.1　HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする

4.1.1　IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）設定の場合

4.1.2　IP アドレス指定設定の場合

4.1.3　フレッツ網　IPv6 アドレス設定の場合
（フレッツ網　IPv6 へ接続しているパソコンからの
アクセス）

4.1.4　メンテナンスモードの場合
（IP アドレスがわからないとき　もしくは
フレッツ網　IPv6　アドレス設定で、フレッツ網（IPv6）へ
接続していないパソコンからのアクセス）

4.2　HomeSeismo 端末設定画面について

4.2.1　TOP

4.2.2　設定変更

4.2.3　動作確認

4.2.4　動作履歴

4.2.5　FTE-HS

4.2.6　再起動

4.2.7　ファイル更新

4.2.8　解析情報

4.1　HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする

HomeSeismo 端末設定画面へのアクセス方法は、
http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/config.html でもご案内しています。

HomeSeismo の設定変更は、設定変更を行うHomeSeismo 端末と同じネットワークに接続されているパソコンの WEB ブラウザから行うことができます。
また、端末設定画面へのアクセスは端末のネットワーク設定によって異なります。

- IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）設定の場合
- IP アドレス指定の場合
- フレッツ網　IPv6 アドレス設定の場合
  （フレッツ網　IPv6 へ接続しているパソコンからのアクセス）
- メンテナンスモードの場合
  （IP アドレスがわからないとき　もしくは　フレッツ網　IPv6 アドレス設定で、フレッツ網（IPv6）へ接続していないパソコンからのアクセス）

新規ユーザ登録を行っていない方が HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする場合は、「第 3 章　設定から新規ユーザ登録まで」をご覧ください。

4.1.1　IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）設定の場合

1. HomeSeismo に割り振られている IP アドレスを確認します。

   http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。

   ※HomeSeismo がセンターに接続中である必要があります。
   　切断中の場合は、ローカル IP アドレスは接続状態であったときの
   　最後の IP アドレスとなりますので、実際の IP アドレスと違う
   　可能性があります。
   ※ルータによっては、HomeSeismo に割り振っている IP アドレスを
   　確認することができます。
   　確認方法はルータによって異なりますので、詳細は各メーカーに
   　お問い合わせください。
   ※IP アドレスが分からない場合は「4.1.4 メンテナンスモードの場合」（46 ページ）で端末設定画面へアクセスしてください。

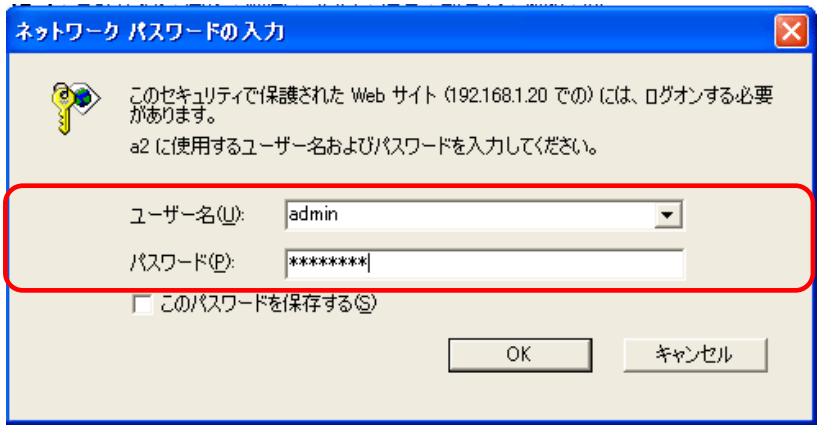
2. 端末と同じネットワークに接続されているパソコンの WEB ブラウザに、下記アドレスを入力してください。

   http://端末 IP アドレス:9090/

   例）端末 IP アドレスが 192.168.1.20 だった場合
   　　http://192.168.1.20:9090/

3. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】(パスワード:0123abcd) →端末に貼られている黄色いシールイメージ



※ パスワードについては、セキュリティの問題上、「*」で表示されます。

4.1.2　IP アドレス指定設定の場合

1. HomeSeismo に割り振られている IP アドレスを確認します。

   HomeSeismo の IP アドレスは、お客様が設定した IP アドレスです。IP アドレス設定時に、「付録 4　端末設定メモ」へ IP アドレスを記入されている場合は、そちらをご確認ください。

   設定した IP アドレスをお忘れになった場合は、http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。

   ※ユーザログイン画面よりログインし、端末ステータスメニューで「ローカル IP アドレス」を確認する場合は、HomeSeismo がセンターに接続中である必要があります。切断中の場合は、ローカル IP アドレスは接続状態であったときの最後の IP アドレスとなりますので、実際の IP アドレスと違う可能性があります。

※IP アドレスが分からない場合は「4.1.4 メンテナンスモードの場合」（46 ページ）で端末設定画面へアクセスしてください。

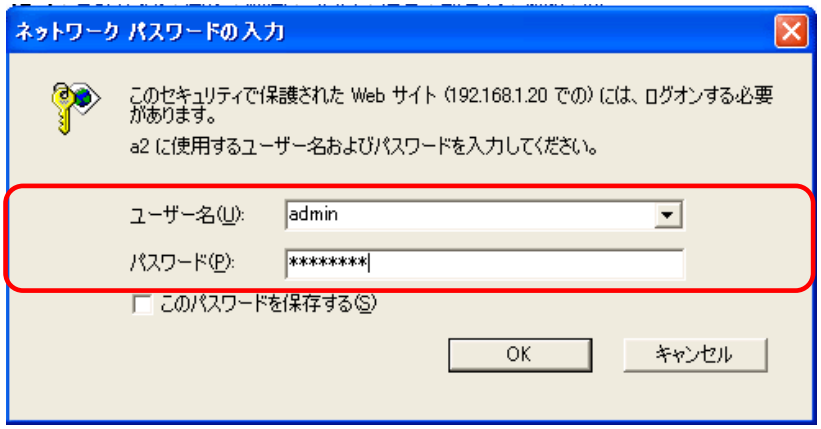
2. 端末と同じネットワークに接続されているパソコンの WEB ブラウザに、下記アドレスを入力してください。

http://端末 IP アドレス:9090/

例）端末 IP アドレスが 192.168.1.20 だった場合
http://192.168.1.20:9090/

3. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】（パスワード：0123abcd） →端末に貼られている黄色いシールイメージ



パスワードについては、セキュリティの問題上、「＊」で表示されます。

4.1.3　フレッツ網　IPv6 アドレス設定の場合（フレッツ網　IPv6 へ接続しているパソコンからのアクセス）

フレッツ網　IPv6 アドレス設定の場合は、「端末と同じフレッツ網（IPv6）に接続していて、IPv6 プロトコルがインストールされているパソコン」から端末設定画面へアクセスする必要があります。
上記以外のパソコンからアクセスする場合は、「4.1.4 メンテナンスモードの場合」（46 ページ）で端末設定画面へアクセスしてください。
また、対応しているブラウザは Internet Explorer　バージョン 7 以上、Firefox、safari となります。

※IPv6 プロトコルのインストール方法は、OS によって異なります。
Windows Vista の場合はデフォルトで IPv6 がインストールされています。

1. HomeSeismo に割り振られている IP アドレスを確認します。

   http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、新規ユーザ登録で登録されたユーザ名とパスワードを入力してログインしてください。「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。

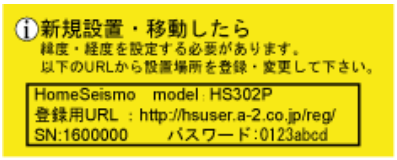
   ※HomeSeismo がセンターに接続中である必要があります。
   切断中の場合は、ローカル IP アドレスは接続状態であったときの最後の IP アドレスとなりますので、実際の IP アドレスと違う可能性があります。
   ※IP アドレスが分からない場合は「4.1.4 メンテナンスモードの場合」（46 ページ）で端末設定画面へアクセスしてください。

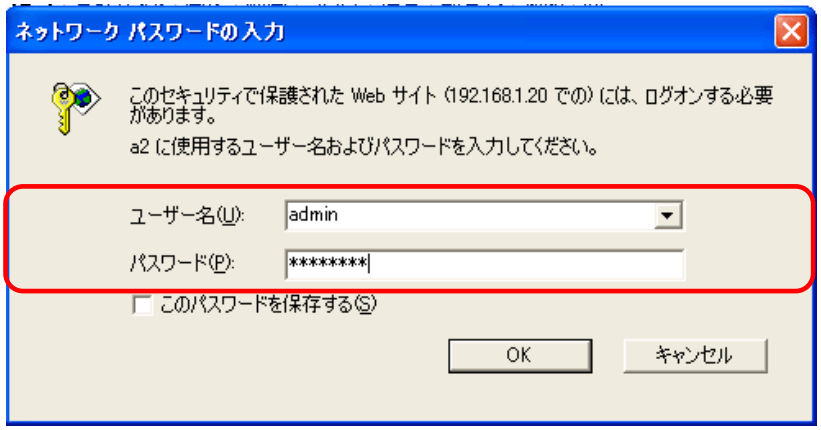
2. パソコンの WEB ブラウザ（Internet Explorer　バージョン 7 以上、Firefox、safari）に、下記アドレスを入力してください。

   http://[端末 IPv6 アドレス]:9090/

   例）端末 IP アドレスが
   2001:70a0:be05:01b2:298c:1ac0:0001:17ea だった場合
   http://[2001:70a0:be05:01b2:298c:1ac0:0001:17ea]:9090/

3. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので、以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】（パスワード：0123abcd） →端末に貼られている黄色いシールイメージ 



※ パスワードについては、セキュリティの問題上、「*」で表示されます。

4.1.4　　メンテナンスモードの場合

メンテナンスモードは、「IP アドレスがわからないとき」もしくは「フレッツ網　IPv6 アドレス設定で、フレッツ網（IPv6）へ接続していないパソコンからのアクセスの場合」に使用します。
新規ユーザ登録を行っていない方がメンテナンスモードで HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする場合は、「第 3 章　設定から新規ユーザ登録まで」をご覧ください。

メンテナンスモードで端末設定画面にアクセスする場合は、HomeSeismo とパソコンを直接 LAN ケーブルで接続し、パソコンにネットワーク設定を行います。

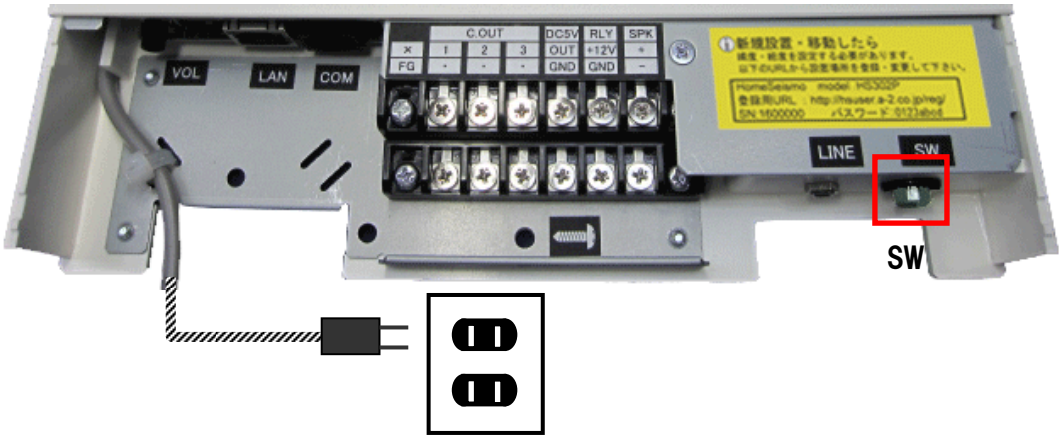
HomeSeismo の電源を抜き、LAN ケーブルも、HUB またはルータなどのネットワーク機器へ接続している場合は抜いてください。
また、すでにパソコンに他のネットワークの LAN ケーブルを接続している場合は、そちらも一旦 LAN ケーブルを抜いてください。

1. 本体下のローレットネジを手で外して、下部のカバーを取ります。

2. HomeSeismo をメンテナンスモードで起動します。

「SW（緑のスイッチ）」を押しながら電源プラグをコンセントに差し込み、端末を起動します。
LINK と MONI の LED が橙の速い点滅になったら、メンテナンスモードで立ち上がっているので、「SW」から手を離してください。

※すでに電源が入っている場合は、「SW」を押し続けると再起動するので、メンテナンスモードで立ち上がるまで「SW」を押し続けてください。



メモ　　メンテナンスモードの端末の IP アドレス

メンテナンスモードでは以下の設定となります。

IP アドレス：192.168.1.20
サブネットマスク：255.255.255.0

注意　　他のネットワークの LAN ケーブルを抜いて下さい

すでにパソコンに他のネットワークの LAN ケーブルを接続している場合は、一旦 LAN ケーブルを抜いてください。パソコンのネットワーク接続は、間違えるとネットワーク全体に影響を及ぼすことがあります。

3. パソコンと端末を LAN ケーブルで直接つなぎます。
（LAN ケーブルはクロスである必要はありません）

4. パソコンのネットワーク設定を行います。
   パソコン IP アドレス：192.168.1.100
   サブネットマスク：255.255.255.0

   詳細については「3.1.3　パソコンのネットワーク設定を行う」（21 ページ）をご覧ください。

注意　　現在のパソコンの設定を控えておいて下さい

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいて下さい。

5. WEB ブラウザで、端末設定画面へアクセスします。
   ※ネットワークと接続されていないので、「サーバーが見つかりません」になります。

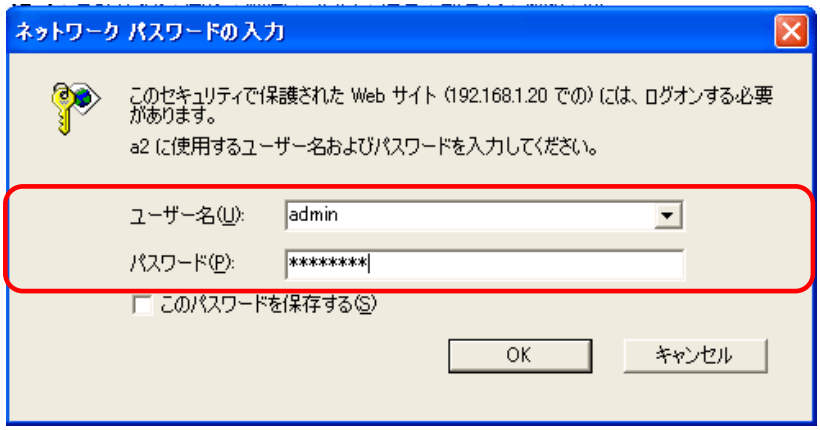
6. 下記アドレス（半角小文字）をブラウザへ入力し、キーボードの「enter」を押します。

   http://192.168.1.20:9090/

   ※メンテナンスモードのアドレスです。

7. ユーザ名とパスワードの入力を求められますので以下の通り入力し、「OK」をクリックしてログインしてください。

ユーザ名	admin
パスワード	本体下部カバー内に貼られている黄色いシールに記載されているパスワード 【例】（パスワード：0123abcd） →端末に貼られている黄色いシールイメージ ⓘ新規設置・移動したら 緯度・経度を設定する必要があります。 以下のURLから設置場所を登録・変更して下さい。 HomeSeismo　model HS302P 登録用URL ：http://hsuser.a-2.co.jp/reg/ SN:1600000　　パスワード:0123abcd



※パスワードについては、セキュリティの問題上、「*」で表示されます。

※ メンテナンスモードを終了する場合は、端末を再起動させます。
※ メンテナンスモードを終了したら、パソコンの設定を元に戻してください。

4.2　HomeSeismo の端末設定画面について

HomeSeismo 端末設定画面へのアクセス方法は、「4.1　HomeSeismo 端末設定画面へアクセスする」（42 ページ）をご覧ください。

4.2.1　　TOP

メニュー項目と、情報表示の画面です。

＜ネットワーク情報＞

〇IP アドレス

端末の現在のローカル IP アドレスです。

〇MAC アドレス

端末の MAC アドレスです。

〇HomeSeismo データセンター接続状態

HomeSeismo データセンターとの接続状態です。

「接続中」：HomeSeismo データセンターと接続中です。

「切断中」：HomeSeismo データセンターと切断中です。

〇NTP 接続状態

NTP サーバとの接続状態です。

「接続中」：NTP サーバと接続中です。

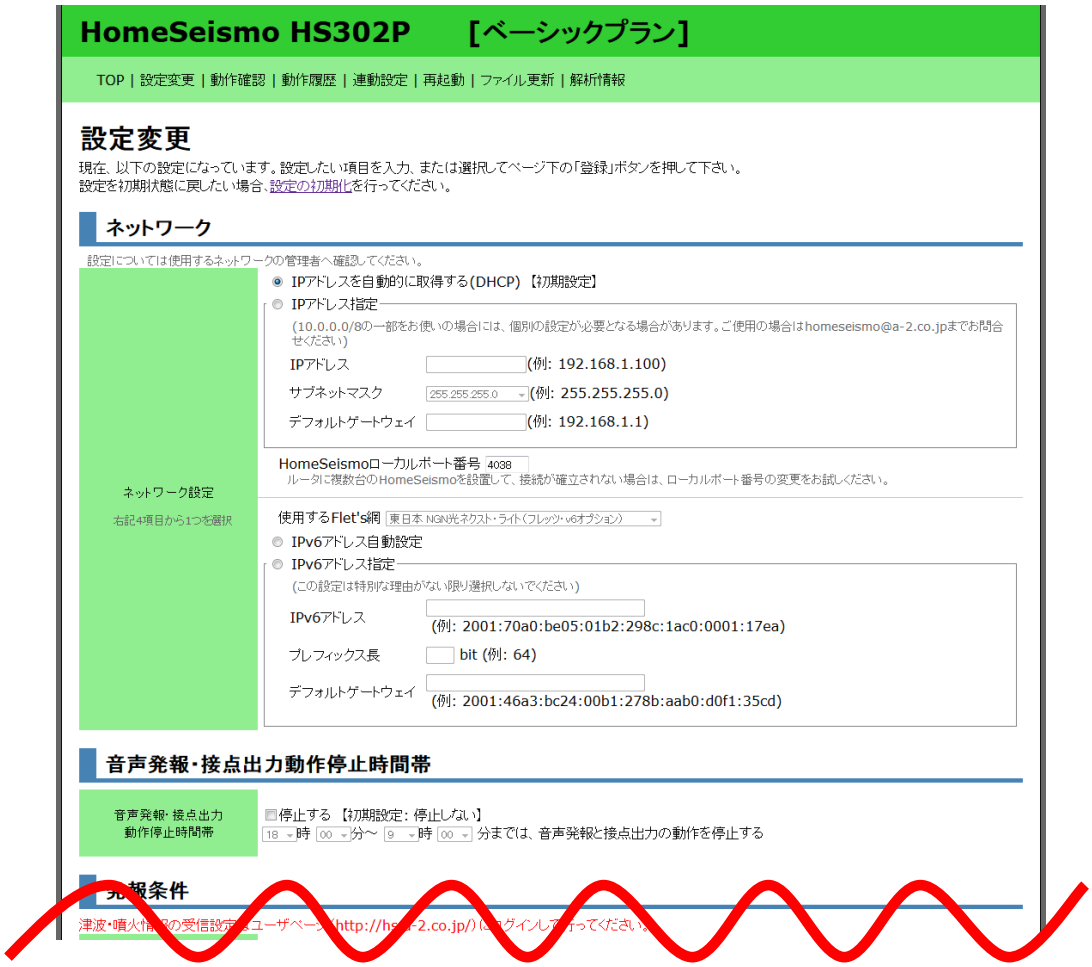
「切断中」：NTP サーバと切断中です。

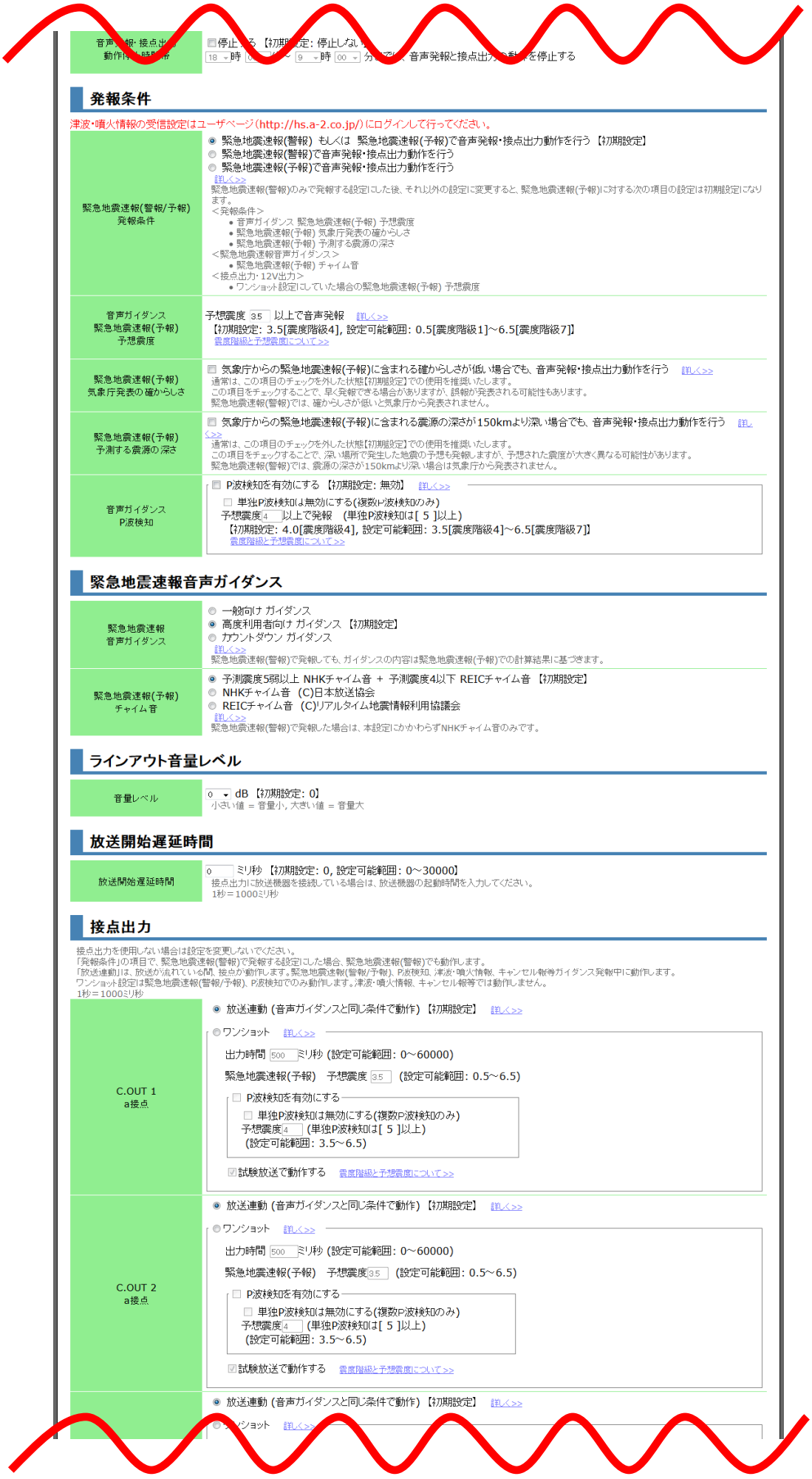
「同期調整中」：接続直後は「同期調整中」の表示になる場合があります。10 分以上経ってページを更新しても表示が変わらない場合は NTP 同期が不安定です。ローカルネットワークの負荷が高い等の可能性がありますので、ネットワーク管理者へお問合せください。

＜システム情報＞
〇音声ガイダンス
現在設定されている音声ガイダンスです。
〇緊急地震速報チャイム音
現在設定されている緊急地震速報のチャイム音です。
〇料金プラン
選択されている料金プランです。
〇シリアル番号
端末のシリアル番号です。
〇音声アプリケーション
音声アプリケーションのバージョンです。
〇システムアプリケーション
システムアプリケーションのバージョンです。
〇システム
システム（OS）のバージョンです。

4.2.2　　設定変更

1. TOP ページの「設定変更」をクリックしてください。
   設定変更画面が表示されます。





音声発報・接点出力
動作停止時間帯

□停止する 【初期設定: 停止しない】
18 時 00 分 ～ 9 時 00 分 の間、音声発報と接点出力の動作を停止する

発報条件

津波・噴火情報の受信設定はユーザページ（http://hs.a-2.co.jp/）にログインして行ってください。

緊急地震速報(警報/予報)
発報条件

◉ 緊急地震速報(警報) もしくは 緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う 【初期設定】
○ 緊急地震速報(警報)で音声発報・接点出力動作を行う
○ 緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う
詳しく>>
緊急地震速報(警報)のみで発報する設定にした後、それ以外の設定に変更すると、緊急地震速報(予報)に対する次の項目の設定は初期設定になります。
＜発報条件＞
- 音声ガイダンス 緊急地震速報(予報) 予想震度
- 緊急地震速報(予報) 気象庁発表の確からしさ
- 緊急地震速報(予報) 予測する震源の深さ

＜緊急地震速報音声ガイダンス＞
- 緊急地震速報(予報) チャイム音

＜接点出力・12V出力＞
- ワンショット設定にしていた場合の緊急地震速報(予報) 予想震度

音声ガイダンス
緊急地震速報(予報)
予想震度

予想震度 3.5 以上で音声発報　詳しく>>
【初期設定: 3.5[震度階級4], 設定可能範囲: 0.5[震度階級1]～6.5[震度階級7]】
震度階級と予想震度について>>

緊急地震速報(予報)
気象庁発表の確からしさ

□ 気象庁からの緊急地震速報(予報)に含まれる確からしさが低い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う　詳しく>>
通常は、この項目のチェックを外した状態【初期設定】での使用を推奨いたします。
この項目をチェックすることで、早く発報できる場合がありますが、誤報が発表される可能性もあります。
緊急地震速報(警報)では、確からしさが低いと気象庁から発表されません。

緊急地震速報(予報)
予測する震源の深さ

□ 気象庁からの緊急地震速報(予報)に含まれる震源の深さが150kmより深い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う　詳しく>>
通常は、この項目のチェックを外した状態【初期設定】での使用を推奨いたします。
この項目をチェックすることで、深い場所で発生した地震の予想も発報しますが、予想された震度が大きく異なる可能性があります。
緊急地震速報(警報)では、震源の深さが150kmより深い場合は気象庁から発表されません。

音声ガイダンス
P波検知

□ P波検知を有効にする 【初期設定: 無効】　詳しく>>
□ 単独P波検知は無効にする(複数P波検知のみ)
予想震度 4 以上で発報　(単独P波検知は[5]以上)
【初期設定: 4.0[震度階級4], 設定可能範囲: 3.5[震度階級4]～6.5[震度階級7]】
震度階級と予想震度について>>

緊急地震速報音声ガイダンス

緊急地震速報
音声ガイダンス

○ 一般向け ガイダンス
◉ 高度利用者向け ガイダンス 【初期設定】
○ カウントダウン ガイダンス
詳しく>>
緊急地震速報(警報)で発報しても、ガイダンスの内容は緊急地震速報(予報)での計算結果に基づきます。

緊急地震速報(予報)
チャイム音

◉ 予測震度5弱以上 NHKチャイム音 + 予測震度4以下 REICチャイム音 【初期設定】
○ NHKチャイム音 (C)日本放送協会
○ REICチャイム音 (C)リアルタイム地震情報利用協議会
詳しく>>
緊急地震速報(警報)で発報した場合は、本設定にかかわらずNHKチャイム音のみです。

ラインアウト音量レベル

音量レベル

0 dB 【初期設定: 0】
小さい値 = 音量小, 大きい値 = 音量大

放送開始遅延時間

放送開始遅延時間

0 ミリ秒 【初期設定: 0, 設定可能範囲: 0～30000】
接点出力に放送機器を接続している場合は、放送機器の起動時間を入力してください。
1秒＝1000ミリ秒

接点出力

接点出力を使用しない場合は設定を変更しないでください。
「発報条件」の項目で、緊急地震速報(警報)で発報する設定にした場合、緊急地震速報(警報)でも動作します。
「放送連動」は、放送が流れている間、接点が動作します。緊急地震速報(警報/予報)、P波検知、津波・噴火情報、キャンセル報等ガイダンス発報中に動作します。
ワンショット設定は緊急地震速報(警報/予報)、P波検知でのみ動作します。津波・噴火情報、キャンセル報等では動作しません。
1秒＝1000ミリ秒

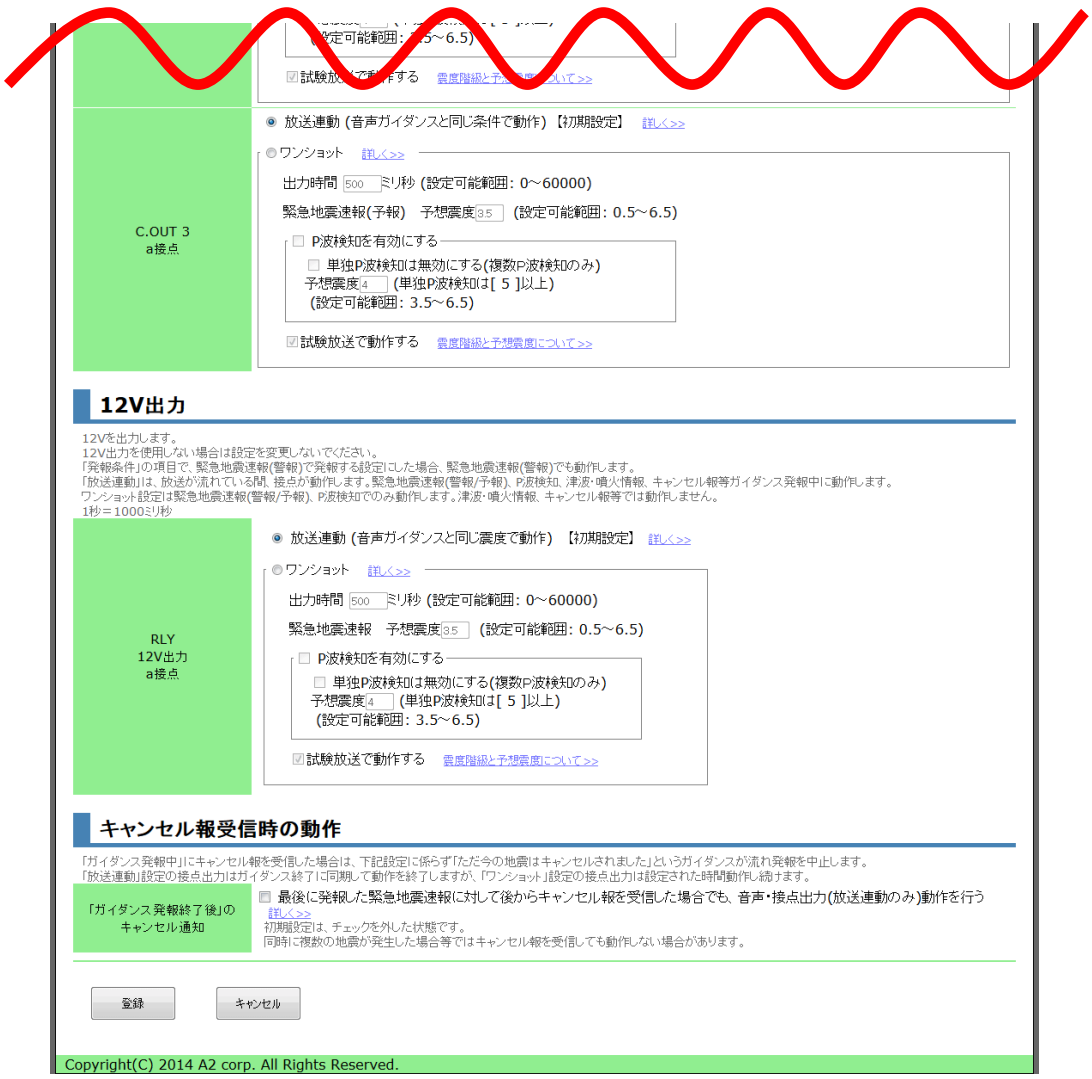
C.OUT 1
a接点

◉ 放送連動 (音声ガイダンスと同じ条件で動作) 【初期設定】　詳しく>>
○ ワンショット　詳しく>>
出力時間 500 ミリ秒 (設定可能範囲: 0～60000)
緊急地震速報(予報)　予想震度 3.5 (設定可能範囲: 0.5～6.5)
□ P波検知を有効にする
□ 単独P波検知は無効にする(複数P波検知のみ)
予想震度 4 (単独P波検知は[5]以上)
(設定可能範囲: 3.5～6.5)
☑ 試験放送で動作する　震度階級と予想震度について>>

C.OUT 2
a接点

◉ 放送連動 (音声ガイダンスと同じ条件で動作) 【初期設定】　詳しく>>
○ ワンショット　詳しく>>
出力時間 500 ミリ秒 (設定可能範囲: 0～60000)
緊急地震速報(予報)　予想震度 3.5 (設定可能範囲: 0.5～6.5)
□ P波検知を有効にする
□ 単独P波検知は無効にする(複数P波検知のみ)
予想震度 4 (単独P波検知は[5]以上)
(設定可能範囲: 3.5～6.5)
☑ 試験放送で動作する　震度階級と予想震度について>>

◉ 放送連動 (音声ガイダンスと同じ条件で動作) 【初期設定】　詳しく>>
○ ワンショット　詳しく>>



＜設定の初期化＞

「設定変更」「LED 表示器」の画面で変更可能な下記の情報が、工場出荷時の設定に戻ります。

〇設定変更

- ネットワーク
- 音声発報・接点出力動作停止時間帯
- 発報条件
- 緊急地震速報音声ガイダンス
- ラインアウト音量レベル
- 放送開始遅延時間
- 接点出力
- 12V 出力
- キャンセル報受信時の動作

〇連動設定

- HS 連動エイツー社製品　登録内容
- HS 連動エイツー社製品　設定

工場出荷時の設定については「付録 3　工場出荷時設定」をご覧ください。

＜ネットワーク＞
ネットワーク設定は下記 4 項目から一つを選択してください。
設定については使用するネットワークの管理者へ確認してください。

〇IP アドレスを自動的に取得する（DHCP）
工場出荷時の設定となります。

〇IP アドレス指定
端末に割り振る IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
次回からの端末設定画面アクセスに、ここで設定した IP アドレスが必要となります。
本書巻末「付録 4　端末設定メモ」へ記入をお願いします。
※10.0.0.0/8 の一部をお使いの場合には、個別の設定が必要となる場合があります。ご使用の場合は homeseismo@a-2.co.jp までお問合せください。

〇（NTT フレッツ網）IPv6 アドレス自動設定
NTT フレッツ網をご選択の上、本設定を選択してください。
・東日本　NGN 光ネクスト・ライト（フレッツ・v6 オプション）
・西日本　NGN 光ネクスト・ライト(フレッツ・v6 オプション）
・西日本　B フレッツ・ADSL（フレッツ・v6 アプリ）・光プレミアム
こちらの設定にした後に、フレッツ網（IPv6）に接続していないパソコンで端末設定画面へアクセスする場合は、端末をメンテナンスモードにする必要があります。

〇（NTT フレッツ網）IPv6 アドレス指定
特別な理由がない限り選択しないでください。
NTT フレッツ網をご選択の上、端末に割り振る IPv6 アドレス、プレフィックス長、デフォルトゲートウェイを設定します。

＜音声発報・接点出力動作停止時間帯＞
音声発報と接点出力の動作を停止する時間帯の設定です。
夜間、人がいないため放送設備で音声を流したくない等の場合に設定ください。
設定をする場合は、「停止する」にチェックをして、停止する時間帯を入力してください。

＜発報条件＞
緊急地震速報（警報/予報）とＰ波検知についての発報条件です。
津波・噴火情報の受信設定はユーザページ（http://hs.a-2.co.jp/）にログインして行ってください。

〇緊急地震速報（警報/予報）発報条件
緊急地震速報（警報/予報）の発報条件です。
下記 3 項目から一つを選択してください。
・緊急地震速報(警報)　もしくは　緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う
・緊急地震速報(警報)で音声発報・接点出力動作を行う
・緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う

緊急地震速報(警報)及び(予報)について

緊急地震速報(警報)及び(予報)の、気象庁からの発表条件等詳細については、http://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/shikumi/shousai.html をご確認ください。

緊急地震速報(警報)及び(予報)での発報について

緊急地震速報(警報)での発報は、登録された設置場所が含まれるエリアに緊急地震速報(警報)が発表された場合に発報を行います。

緊急地震速報(予報)での発報は、下記の設定に基づきます。
・登録された設置場所ピンポイントで予測された震度
・「気象庁発表の確からしさ」の設定
・「予測する地震の深さ」の設定

設定に対する動作例

※緊急地震速報は、予報のみの発表か、予報と警報の両方の発表かになります。気象庁から警報のみが発表されることはありません。
※下記緊急地震速報(予報)の動作設定に、「気象庁発表の確からしさ」の設定、「予測する地震の深さ」の設定は加味していません。実際はその二つの設定も発報条件に加わります。

		動作設定内容				
		警報で動作	警報もしくは予報(4以上)で動作	警報もしくは予報(5弱以上)で動作	予報(4以上)で動作	予報(5弱以上)で動作
緊急地震速報発表内容	警報＋震度5弱予報	○	○	○	○	○
	警報＋震度4予報	○	○	○	○	×
	警報＋震度3予報	○	○	○	×	×
	震度5弱予報(警報なし)	×	○	○	○	○
	震度4予報(警報なし)	×	○	×	○	×
	震度3予報(警報なし)	×	×	×	×	×

その他

緊急地震速報(警報)のみで発報する設定にした後、それ以外の設定に変更すると、緊急地震速報(予報)に対する次の項目の設定は初期設定になります。
[発報条件]
・音声ガイダンス 緊急地震速報(予報) 予想震度
・緊急地震速報(予報) 気象庁発表の確からしさ
・緊急地震速報(予報) 予測する震源の深さ
[緊急地震速報音声ガイダンス]
・緊急地震速報(予報) チャイム音
[接点出力・12V 出力]
・ワンショット設定にしていた場合の緊急地震速報(予報) 予想震度

〇音声ガイダンス　緊急地震速報（予報）　予想震度
音声（「放送連動」設定の場合は接点出力も連動）で発報をする予想震度です。

〇緊急地震速報（予報）　気象庁発表の確からしさ
気象庁からの緊急地震速報に含まれる確からしさが低い場合でも、音声発報・接点出力動作を行うかどうかの設定です。
通常は、この項目のチェックを外した状態（初期設定）での使用を推奨いたします。
この項目をチェックすることで、早く発報できる場合がありますが、誤報が発表される可能性があります。

※気象庁発表の確からしさについて
気象庁の発表する緊急地震速報（予報）の中には、「確からしさ」という情報が含まれています。
ここでの「確からしさが低い場合」とは、1 点の地震観測点で地震波が観測された情報をもとに緊急地震速報が発表された場合のことです。
なお緊急地震速報は複数回送信され、情報が更新されていきます。最初の速報の「確からしさ」が低くても、続報によって「確からしさ」が高くなる場合があります。
「確からしさが低い場合に～を行う」にチェックすることでより早く発表することができる場合もありますが、落雷などの衝撃で誤報を発表する可能性もあります。
緊急地震速報（警報）では、確からしさが低いと気象庁から発表されません。

〇緊急地震速報（予報）　予測する震源の深さ
気象庁からの緊急地震速報に含まれる地震の深さが 150km より深い場合でも、音声発報・接点出力動作を行うかどうかの設定です。
通常は、この項目のチェックを外した状態（初期設定）での使用を推奨いたします。
この項目をチェックすることで、深い場所で発生した地震の予想も発報しますが、予想された震度や猶予時間が大きく異なる可能性があります。

※予測する震源の深さについて
気象庁の発表する緊急地震速報（予報）の中には、「震源の深さ」という情報が含まれています。
沈み込んだプレート内で発生するような震源の深い地震は「深発地震」と呼ばれ、震度を精度よく予想することは困難です。
緊急地震速報(警報)では、深発地震では正確な震度分布を予想できないことから、深さを 150km より深いと推定した深発地震に対しては発表を行いません。

ホームサイスモでは、緊急地震速報(予報)を発報する場合、「震源の深さが 150km より深い場合でも～を行う」にチェックすることで深発地震を発報することができますが、「深発地震の予想精度が十分でない」ことを利用者へ明示（注意喚起）する必要があります。

なお、緊急地震速報(予報)は複数回送信され、情報が更新されていきます。
最初の速報の「震源の深さ」が 150km 以内であっても、続報によって「震源の深さ」が深くなる場合があります。
「震源の深さ」が 150km 以内で発報を開始した場合、続報で「震源の深さ」が 150km を越えても発報を継続します。

〇P 波検知
内蔵地震計の P 波検知による発報の設定です。
有効に設定した場合、内部のセンサーが揺れを検知すると音声(「放送連動」設定の場合は接点出力も連動)でお知らせします。
P 波検知の設定予想震度は 3.5 以上です。
生活振動ノイズによる誤動作が起きる可能性があります。工場出荷時の設定は「無効」ですので、技術的な限界をご理解の上、「有効」に設定しご利用いただくようお願いします。

●複数 P 波検知/単独 P 波検知
詳細はホームサイスモの WEB サイト(http://www.a-2.co.jp/homeseismo/)を参照してください。

＜緊急地震速報音声ガイダンス＞
音声ガイダンス・チャイム音の選択です。
ホームサイスモの WEB サイト(http://www.a-2.co.jp/homeseismo/)で視聴が可能です。

〇一般向けガイダンス
予想震度や予想猶予時間は伝えず、あいまいな表現(「すぐ強い地震が来ます」等)と「身の安全を確保してください」などのメッセージで注意を呼びかけます。
商業施設や公的施設などで緊急地震速報の訓練を受けていない利用者が聞く環境で推奨されます。

〇高度利用者向けガイダンス
予想震度と予想猶予時間に加えて、「身の安全を確保してください」などのメッセージで注意を呼びかけます。

〇カウントダウンガイダンス
予想震度と予想猶予時間を繰り返し発報します。
予想猶予時間が 10 秒未満になると秒数のカウントダウンを行います(9,8,....2,1)。
なお緊急地震速報は複数回送信され、情報が更新されていきます。
猶予時間が更新され、1 秒刻みのカウントダウンでなくなる場合があります。
ご了承の上ご選択ください。
例:6,5,2,1(5 秒のカウント後、情報が更新)

〇予測震度 5 弱以上　NHK チャイム音　＋　予測震度 4 以下　REIC チャイム音
商業施設や公的施設など、緊急地震速報の訓練を受けていない利用者が聞く環境では必ずこちらをご選択ください。

〇NHK チャイム音　(C)日本放送協会
NHK が緊急地震速報用に作成したチャイム音です。
利用者が日頃から試験放送による訓練を行っている環境で使用することが推奨されます。
商業施設や公的施設など、緊急地震速報の訓練を受けていない利用者が聞く環境では選択しないでください。

〇REIC チャイム音　(C)リアルタイム地震情報利用協議会
NHK チャイム音よりも緊迫感のあるチャイム音です。
利用者が日頃から試験放送による訓練を行っている環境で使用することが推奨されます。

※チャイム音の視聴でユーザ名とパスワードの入力が必要な場合は、端末設定画面へのアクセスと同じです（ユーザ名：admin、パスワード：黄色シール記載）

＜ラインアウト音量レベル＞
LINE コネクタへ接続した放送機器の音量レベルを調節します。
小さい値 = 音量小、大きい値 = 音量大 となります。

＜放送開始遅延時間＞
接点出力に放送機器を接続している場合、ガイダンスの冒頭部分が放送されないときに、放送機器の起動時間を設定してください。1 秒は 1000 ミリ秒です。
設定された値だけ、緊急地震速報が届いてから放送を開始するタイミングが遅れます。放送機器に接続しない場合には 0 のままご利用ください。

＜接点出力＞
接点出力、C.OUT1、2、3 の設定です。
接点出力を使用しない場合は設定を変更しないでください。
a 接点で、通常は開放、動作時に短絡となります。

〇放送連動
放送が流れている間、接点が動作します。
緊急地震速報(警報/予報)、P 波検知、津波・噴火情報等、ガイダンス発報中は全て動作します。
緊急地震速報(警報)での動作、緊急地震速報(予報)での動作・動作震度、P 波検知の有効/無効・動作震度は、すべて発報条件設定と連動します。また、試験放送でも必ず動作します。

〇ワンショット
設定した時間だけ接点が動作します。
緊急地震速報(警報/予報)、P 波検知でのみ動作します。
津波・噴火情報、キャンセル報では動作しません。
緊急地震速報(警報/予報)での動作は、発報条件設定と連動します。
緊急地震速報(予報)での動作震度、P 波検知の有効/無効・動作震度、試験放送時の動作の有無は個別設定できます。
1 秒は 1000 ミリ秒です。
動作後 5 秒間は再動作しません。

＜12V 出力＞
12V 出力、RLY（a 接点）の設定です。
12V 出力を使用しない場合は設定を変更しないでください。
a 接点で、通常は開放、動作時に短絡となります。

〇放送連動
放送が流れている間、12V が流れます。
緊急地震速報(警報/予報)、P 波検知、津波・噴火情報等、ガイダンス発報中は全て動作します。
緊急地震速報(警報)での動作、緊急地震速報(予報)での動作・動作震度、P 波検知の有効/無効・動作震度は、すべて発報条件設定と連動します。また、試験放送でも必ず動作します。

〇ワンショット
設定した時間だけ 12V が流れます。
緊急地震速報(警報/予報)、P 波検知でのみ動作します。
津波・噴火情報、キャンセル報では動作しません。
緊急地震速報(警報/予報)での動作は、発報条件設定と連動します。
緊急地震速報(予報)での動作震度、P 波検知の有効/無効・動作震度、試験放送時の動作の有無は個別設定できます。
1 秒は 1000 ミリ秒です。
動作後 5 秒間は再動作しません。

＜キャンセル報受信時の動作＞
最後に発報した緊急地震速報に対して後からキャンセル報を受信した場合に、音声・接点出力（放送連動のみ）動作を行うかどうかの設定です。
初期設定は、チェックを外した状態です。
同時に複数の地震が発生した場合等ではキャンセル報を受信しても動作しない場合があります。

※キャンセル報受信時の動作について
ガイダンス発報中にキャンセル報を受信した場合、「ただ今の地震はキャンセルされました」が流れガイダンスを停止します。
「放送連動」設定の接点出力はガイダンス終了に同期して動作を終了しますが、「ワンショット」設定の接点出力は設定された時間動作し続けます。
本項目は、ガイダンス終了後にキャンセル報を受信した場合の設定です。
「最後に発報した緊急地震速報に対して～を行う」にチェックをすると、「放送連動」設定の接点出力が動作し「先ほどの緊急地震速報はキャンセルされました」が流れます。
キャンセル報は、気象庁からの送信に長い時間がかかる可能性もあります。
本項目をチェックすると、発報終了直後だけではなく、時間が経ったあとにキャンセルガイダンスが流れる可能性もあります。
発報していない緊急地震速報のキャンセル報、最後に発報した緊急地震速報以外のキャンセル報では動作しません。
同時に複数の地震が発生した場合等では、キャンセル報を受信しても動作しない場合があります。

2. 変更したい項目を設定したら、ページ一番下の「登録」ボタンをクリックします。

3. 設定変更の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

4. 設定変更中の画面が表示されます。
端末が再起動を行いますので、起動するまで電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。
引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。
端末設定画面にアクセスできない場合は、端末の IP アドレスが変わっている可能性がありますので、再度 http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。

4.2.3　　動作確認

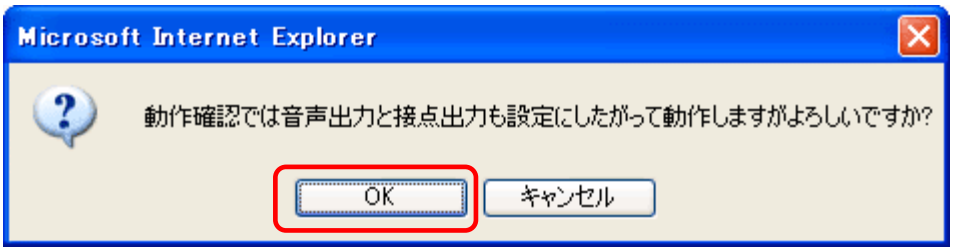
音声出力・接点出力の動作確認が行えます。
緊急地震速報（警報）及び緊急地震速報（予報）震度 6 弱、猶予時間 10 秒での動作確認です。
ネットワークが正常か確認したい場合は、http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、「緊急地震速報 試験放送ページ」より試験放送を行ってください。

> **注意　　待機状態以外の状態では動作試験を行わないでください**
>
> 音声警報中など待機状態以外の状態では動作試験を行わないでください。
> 緊急地震速報（予報）のみで発報する設定で、設定されている警報震度階が震度 6 弱より大きい場合は動作しません。

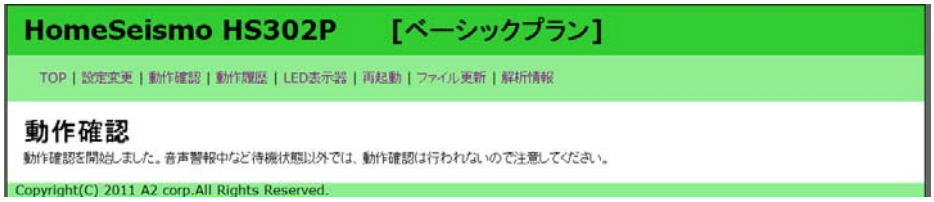
1. TOP ページの「動作確認」をクリックしてください。
   動作確認画面が表示されます。

2. 「実行」ボタンをクリックします。

3. 動作確認の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

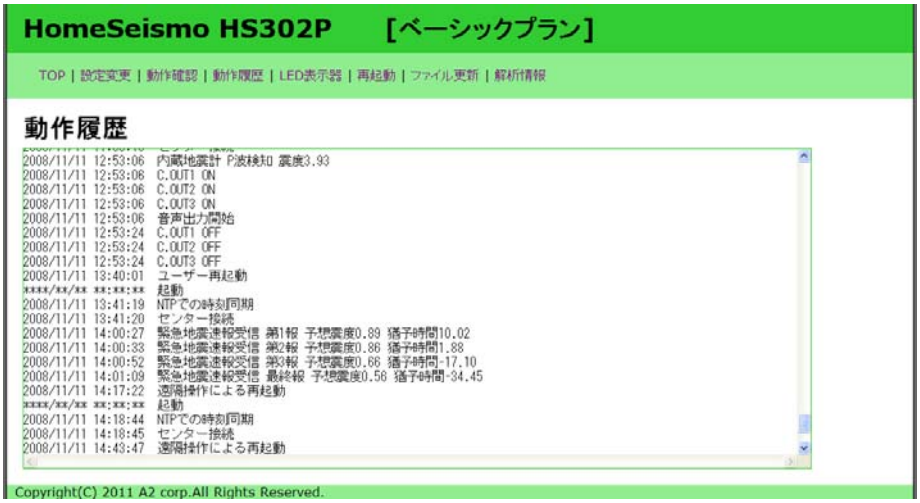


4. 動作確認中の画面が表示され、音声が流れます。
   放送が終了するまで操作を行わないでください。
   放送終了後、引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。


HomeSeismo HS302P　[ベーシックプラン]
TOP | 設定変更 | 動作確認 | 動作履歴 | LED表示器 | 再起動 | ファイル更新 | 解析情報
動作確認
動作確認を開始しました。音声警報中など待機状態以外では、動作確認は行われないので注意してください。
Copyright(C) 2011 A2 corp.All Rights Reserved.

4.2.4　　動作履歴

1. TOP ページの「動作履歴」をクリックしてください。
   動作履歴画面が表示されます。



ログの内容は以下の通りです。
※ログについては、新しい情報が下に表示されます。古い情報は上から消えていきます。

動作履歴（表示内容）	ログの内容
起動	端末が起動しました
メンテナンス起動	メンテナンスモードで起動しました
NTP での時刻同期	起動してから最初に NTP で時刻合わせした時及び NTP 切断状態から接続状態へ変化した時です
NTP での時刻非同期	NTP で時刻合わせができない時です
センター接続	センターに接続されました
センター切断	センターと切断されました
NGN IPv6 DNS に接続 ※LINK LED が橙の遅い点滅の場合の切り分け用ログです。 ※ひかり電話をご使用の回線で、DHCPv6-PD 対応のルータをご使用の場合はルータの設定が必要となります。設定に必要な情報は、購入元にお問い合わせください。	LINK LED が橙の遅い点滅でこの履歴が表示されている場合、下記の可能性があります 「東/西：NGN IPv6 DNS 解決に失敗」が併せて表示されている場合、東と西の設定が実際と異なっています 「東/西：NGN IPv6 DNS 解決に失敗」が表示されていない場合、お客様ネットワークのファイアーウォールで通信を拒否されている可能性があります

動作履歴(表示内容)	ログの内容
東:NGN IPv6 DNS 解決に失敗 ※LINK LED が橙の遅い点滅の場合の切り分け用ログです。 ※ひかり電話をご使用の回線で、DHCPv6-PD 対応のルータをご使用の場合はルータの設定が必要となります。設定に必要な情報は、購入元にお問い合わせください。	LINK LED が橙の遅い点滅でこの履歴が表示されている場合、下記の可能性があります 「NGN IPv6 DNS に接続」が併せて表示されている場合、東の設定で、西の NGN 網に接続しています 「NGN IPv6 DNS に接続」が表示されていない場合、NGN 以外の IPv6 網に接続しています
西:NGN IPv6 DNS 解決に失敗 ※LINK LED が橙の遅い点滅の場合の切り分け用ログです。 ※ひかり電話をご使用の回線で、DHCPv6-PD 対応のルータをご使用の場合はルータの設定が必要となります。設定に必要な情報は、購入元にお問い合わせください。	LINK LED が橙の遅い点滅でこの履歴が表示されている場合、下記の可能性があります 「NGN IPv6 DNS に接続」が併せて表示されている場合、西の設定で、東の NGN 網に接続しています 「NGN IPv6 DNS に接続」が表示されていない場合、NGN 以外の IPv6 網に接続しています
SW 長押しによる再起動	SW 長押しにより再起動されました
ユーザ再起動	端末設定画面からユーザにより再起動されました
遠隔操作による再起動	センターから再起動されました
緊急地震速報(警報/予報)受信 第 x 報 予想震度 x 猶予時間 x	緊急地震速報(警報/予報)を受信しました
緊急地震速報(予報)受信 第 x 報 予想震度 x 猶予時間 x	緊急地震速報(予報)を受信しました
未発報(震源距離 2000km 以上)	緊急地震速報で震源距離が 2000km 以上の為、発報されません
未発報(マグニチュードデータなしのため)	緊急地震速報でマグニチュードが含まれていない為、発報されません
未発報(不正なマグニチュードデータのため)	緊急地震速報で不正なマグニチュードの値が含まれている為、発報されません
未発報(時刻情報不一致)	緊急地震速報の時刻が端末の時刻情報と不一致な為、発報されません
未発報(確からしさが低いため)	緊急地震速報で地震観測点が 1 点の為、発報されません(「気象庁発表の確からしさ」の設定にチェックされていない場合のみ)
確からしさが低い(予想精度に注意)	緊急地震速報で地震観測点が 1 点の為、予想精度が十分でない可能性があります(「気象庁発表の確からしさ」の設定がチェックされている場合のみ)

動作履歴（表示内容）	ログの内容
未発報(震源深度 150km 以上)	緊急地震速報で震源の深さが 150km 以上の為、発報されません(「予測する地震の深さ」の設定にチェックされていない場合のみ)
深発地震(予想精度に注意) 震源深度:xkm	緊急地震速報で震源の深さが 150km 以上の為、予想精度が十分でない可能性があります(「予測する地震の深さ」の設定がチェックされている場合のみ)
キャンセル報受信	キャンセル報を受信しました
複数 P 波検知情報を受信	HomeSeismo データセンターから複数 P 波検知情報を受信しました
内蔵地震計 複数 P 波検知 震度 x	内蔵地震計で音声ガイダンスの閾値を超えた場合のログです(P 波検知有効時のみ表示)
内蔵地震計 複数 P 波検知終了 結果(最大値) S 波予想震度 x･xgal S 波実測震度 x･xgal	内蔵地震計が揺れを検知した時の最大値(P波検知有効で設定閾値より大きいときに表示)です
内蔵地震計 単独 P 波検知 震度 x	内蔵地震計で音声ガイダンスの閾値を超えた場合のログです(単独 P 波検知有効時のみ表示)
内蔵地震計 単独 P 波検知終了 結果(最大値) S 波予想震度 x･xgal S 波実測震度 x･xgal	内蔵地震計が揺れを検知した時の最大値(単独P波検知有効で設定閾値より大きいときに表示)です
大津波警報(特別警報)を受信	大津波警報(特別警報)を受信しました
津波警報を受信	津波警報を受信しました
津波注意報を受信	津波注意報を受信しました
噴火警報(特別警報)を受信	噴火警報(特別警報)を受信しました
噴火警報を受信	噴火警報を受信しました
緊急地震速報(警報)による音声出力開始	緊急地震速報(警報)での音声出力が開始されました
緊急地震速報(予報)による音声出力開始	緊急地震速報(予報)での音声出力が開始されました
緊急地震速報のキャンセルを通知	緊急地震速報のキャンセルを通知しました
内蔵地震計による音声出力開始	内蔵地震計での音声出力が開始されました
大津波警報(特別警報)による音声出力開始	大津波警報(特別警報)での音声出力が開始されました

動作履歴(表示内容)	ログの内容
津波警報による音声出力開始	津波警報での音声出力が開始されました
津波注意報による音声出力開始	津波注意報での音声出力が開始されました
噴火警報(特別警報)による音声出力開始	噴火警報(特別警報)での音声出力が開始されました
噴火警報による音声出力開始	噴火警報での音声出力が開始されました
【試験】緊急地震速報(警報/予報)受信 第 x 報 予想震度 x 猶予時間 x	Web サイト http://hs.a-2.co.jp/からの緊急地震速報試験放送です
【試験】緊急地震速報(予報)受信 第 x 報 予想震度 x 猶予時間 x	Web サイト http://hs.a-2.co.jp/からの緊急地震速報試験放送です
SW による試験放送	SW 押下での緊急地震速報動作試験です
ユーザによる試験放送	端末設定画面からの緊急地震速報動作試験です
【試験】大津波警報(特別警報)を受信	Web サイト http://hs.a-2.co.jp/からの津波情報試験放送です
【試験】津波警報を受信	Web サイト http://hs.a-2.co.jp/からの津波情報試験放送です
【試験】津波注意報を受信	Web サイト http://hs.a-2.co.jp/からの津波情報試験放送です
【試験】噴火警報(特別警報)を受信	Web サイト http://hs.a-2.co.jp/からの噴火情報試験放送です
【試験】噴火警報を受信	Web サイト http://hs.a-2.co.jp/からの噴火情報試験放送です
【試験】緊急地震速報(警報)による音声出力開始	緊急地震速報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】緊急地震速報(予報)による音声出力開始	緊急地震速報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】大津波警報(特別警報)による音声出力開始	大津波警報(特別警報)の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】津波警報による音声出力開始	津波警報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】津波注意報による音声出力開始	津波注意報の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】噴火警報(特別警報)による音声出力開始	噴火警報(特別警報)の試験放送での音声出力が開始されました
【試験】噴火警報による音声出力開始	噴火警報の試験放送での音声出力が開始されました
C.OUTx ON/OFF	接点出力の動作です
RLY ON/OFF	12V 出力の動作です

動作履歴(表示内容)	ログの内容
SW ON/OFF	SW の動作です
PATLITE 接続 ″x″	パトライト社端末 FTE-HS の x(任意の名前)と接続されました
PATLITE 切断 ″x″	パトライト社端末 FTE-HS の x(任意の名前)と切断されました

2. 引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。

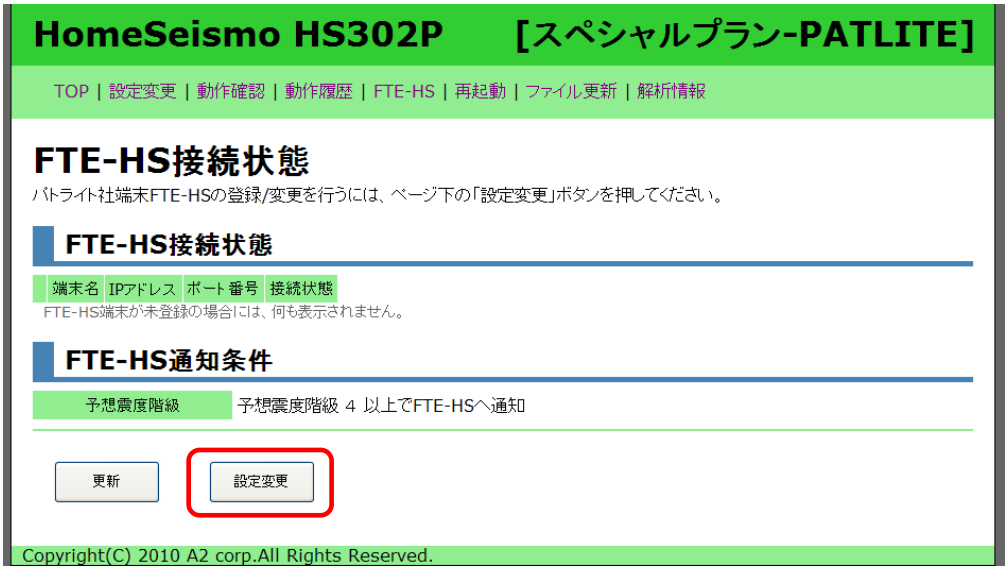
4.2.5　FTE-HS

> ⚠注意　FTE-HS は IPv6 に対応していません
>
> FTE-HS は IPv6 に対応していないため、HomeSeismo のネットワーク設定が IPv6 の場合は、LED 表示器と連動できません。

パトライト社端末 FTE-HS と接続するためのページとなります。

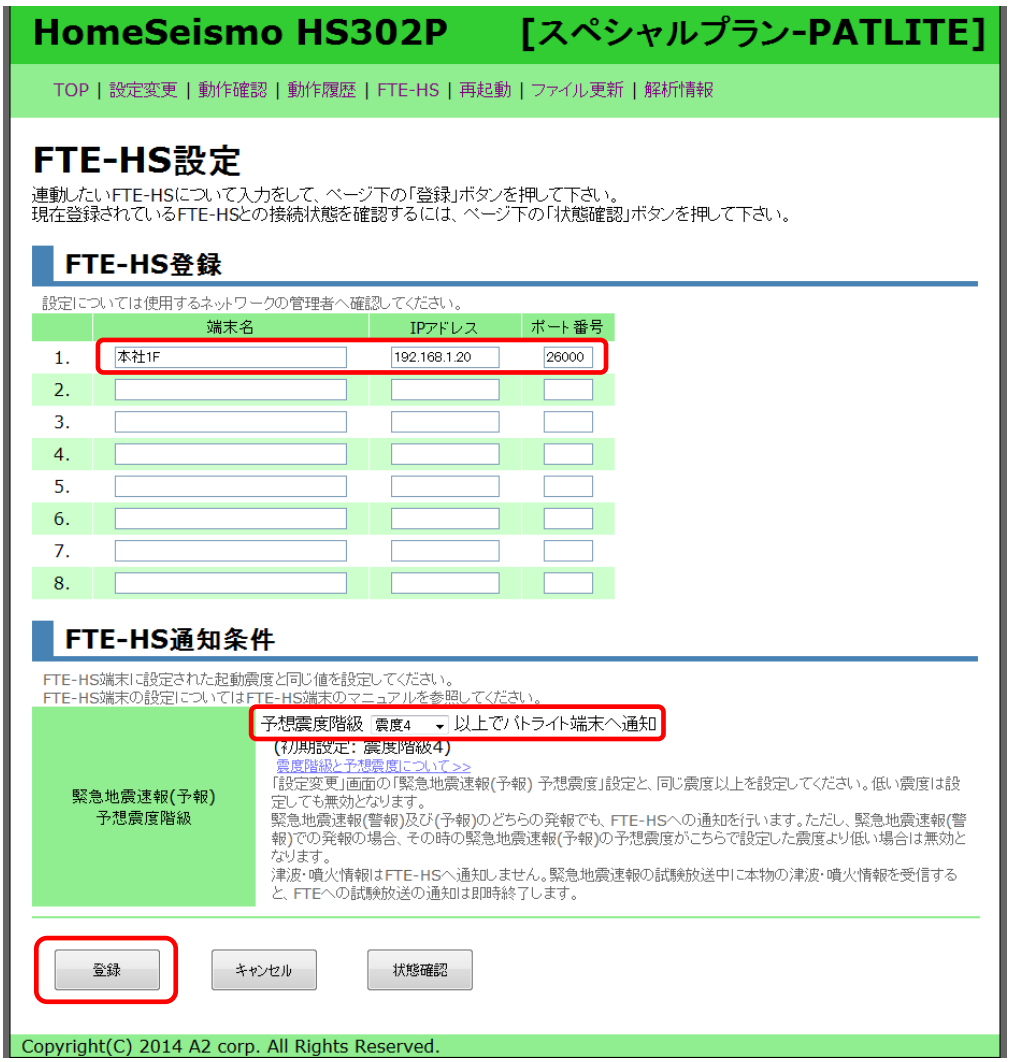
1. TOP ページの「FTE-HS」をクリックしてください。
   FTE-HS 接続状態画面が表示されます。

2. 「設定変更」ボタンをクリックします。



3. FTE-HS 設定画面が表示されます。
FTE-HS 登録には、HomeSeismo からのデータ送信先の端末名（識別用）、IP アドレス、ポート番号を入力してください。
FTE-HS 緊急地震速報通知条件では、FTE-HS へ通知を行う震度を選択します。
「登録」ボタンをクリックしてください。

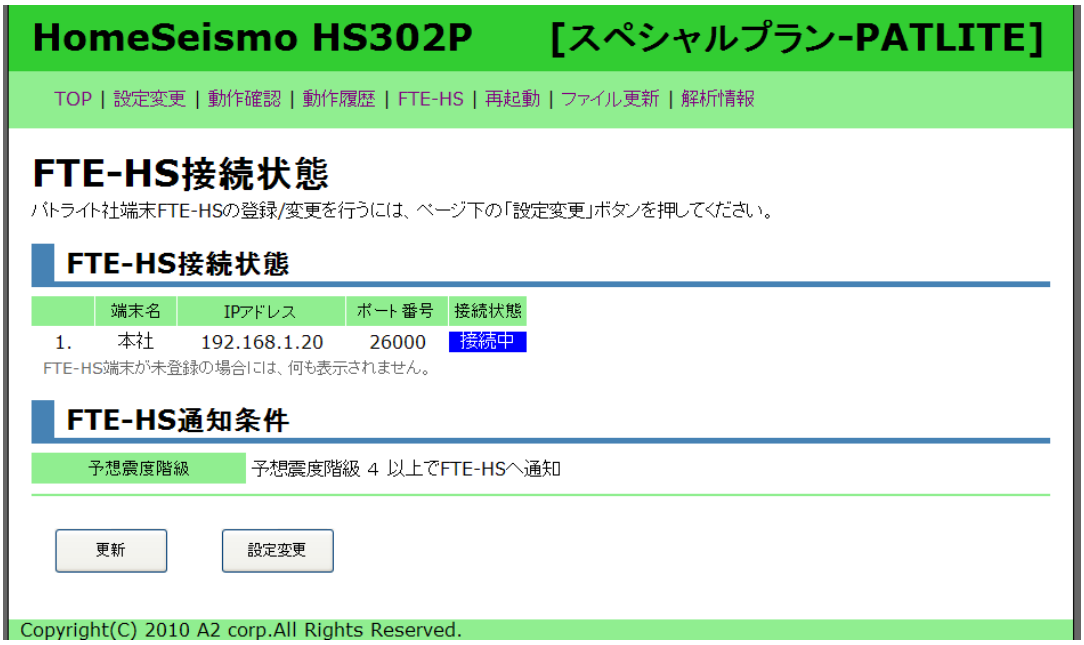
※通知震度は FTE-HS 端末に設定された起動震度と同じ値を設定してください。
※通知震度は、「設定変更」画面の「緊急地震速報(予報)　予想震度」設定と、同じ震度以上を設定してください。低い震度は設定しても無効となります。
※緊急地震速報(警報)及び(予報)のどちらの発報でも、FTE-HS への通知を行います。ただし、緊急地震速報(警報)での発報の場合、その時の緊急地震速報(予報)の予想震度がこちらで設定した震度より低い場合は無効となります。
※津波・噴火情報は FTE-HS へ通知しません。緊急地震速報の試験放送中に本物の津波・噴火情報を受信すると、FTE への試験放送の通知は即時終了します。



4. 設定変更の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

5. 設定変更中の画面が表示されます。
端末が再起動を行いますので、起動するまで電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。
引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。
端末設定画面にアクセスできない場合は、端末の IP アドレスが変わっている可能性がありますので、再度 http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。

6. FTE-HS 接続状態画面を表示させると、登録した端末が確認できます。

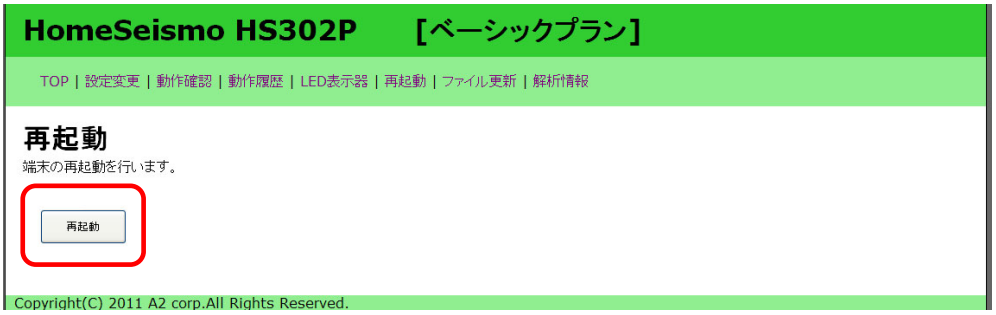


4.2.6　再起動

端末の再起動が行えます。

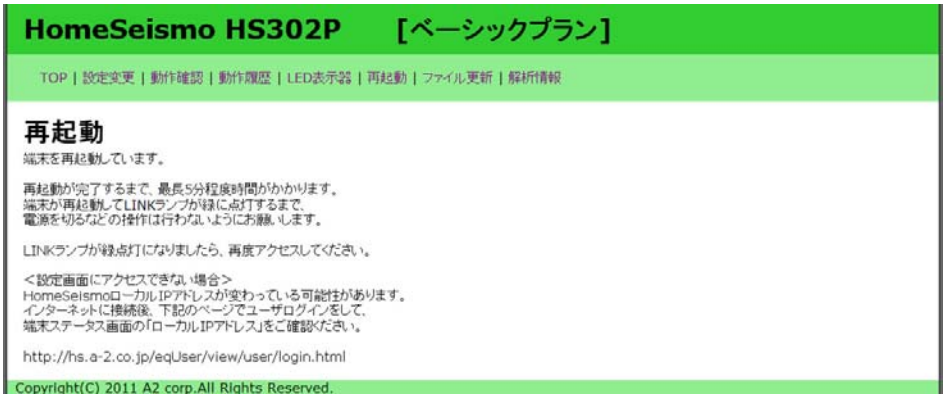
1. TOP ページの「再起動」をクリックしてください。
   再起動画面が表示されます。

2. 「再起動」ボタンをクリックします。



3. 再起動の確認ダイアログが表示されます。「OK」をクリックしてください。

4. 再起動中の画面が表示されます。
   端末が再起動して LINK ランプが緑に点灯するまで、電源を切るなどの操作は行わないようにお願いします。
   引き続き端末設定画面をご利用の場合は、利用するメニューの項目をクリックしてください。
   端末設定画面にアクセスできない場合は、端末の IP アドレスが変わっている可能性がありますので、再度 http://hs.a-2.co.jp/のサイトの左メニューより「ログイン」をクリックしてユーザログインページにアクセスし、「端末ステータス」で、「ローカル IP アドレス」を確認してください。



4.2.7　　ファイル更新

別途契約を結んだ方のみのページとなります。

4.2.8　　解析情報

別途端末の保守契約を結んだ方のみのページとなります。

付　録

付録 1　　HS302P　接点仕様

付録 2　　HS302P　製品仕様

付録 3　　HS302P　工場出荷時設定内容

付録 4　　端末設定メモ

付録 5　　ソフトウェア使用許諾契約　兼　利用規約

付録 1　HS302P 接点仕様

◆「C. OUT」コネクタの仕様

端子名	C.OUT （1～3）
出力端子	ネジ式端子台（端子ネジM3）
出力方式	C.OUT1、C.OUT2、C.OUT3：PhotoMOSリレー　a接点出力（本機電源断の際は開放） ※ PhotoMOSリレーはパナソニック電工株式会社の登録商標です。
備考	C.OUT1、C.OUT2、C.OUT3：最大定格 DC45V 800mA(AC30V 550mA rms) ※無極性・交流の場合、周波数は 100Hz未満に限る。

◆「DC5V出力（常時）」コネクタの仕様

端子名	DC5V
出力端子	ネジ式端子台（端子ネジM3）
備考	「OUT」表示側の端子の電圧が「GND」表示側の端子に対して、+5Vです。 本端子の最大出力電流は 100mAで、自己復帰型ヒューズで保護しています。 本機内部の回路系の一部の電源と共通なので、本端子への接続機器の特性によっては、本機の動作に影響を与える場合がありますのでご留意ください。 ※本端子に、外部から電圧を印加しないでください。故障の原因になります。

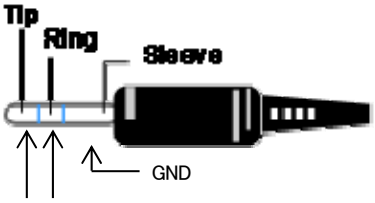
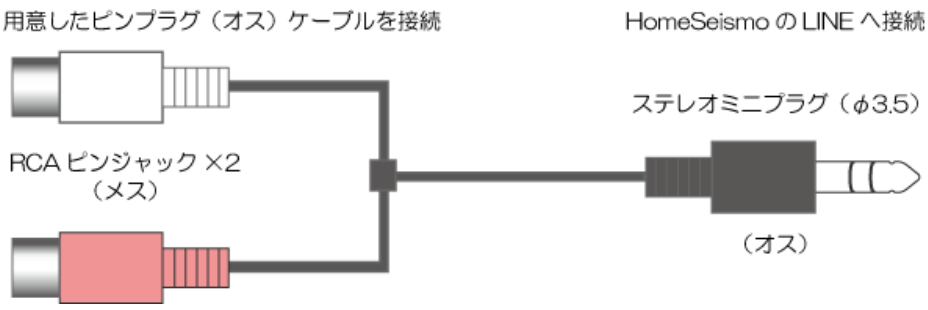
◆「DC12V出力（制御可）」コネクタの仕様

端子名	RLY
出力端子	ネジ式端子台（端子ネジM3）
備考	「+12」表示側の端子の電圧が「GND」表示側の端子に対して、+12Vです。 本端子の最大出力電流は 500mAで、自己復帰型ヒューズで保護しています。 本機内部の回路系の一部の電源と共通なので、本端子への接続機器の特性によっては、本機の動作に影響を与える場合がありますのでご留意ください。 ※本端子に、外部から電圧を印加しないでください。故障の原因になります。電源遮断用接点出力（シングルステイブル型のリレー）を採用しています。

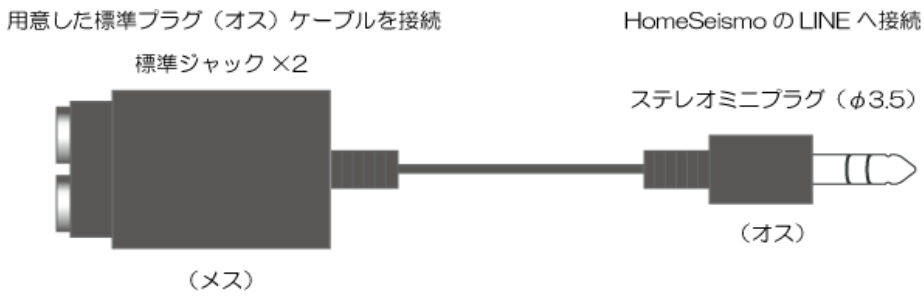
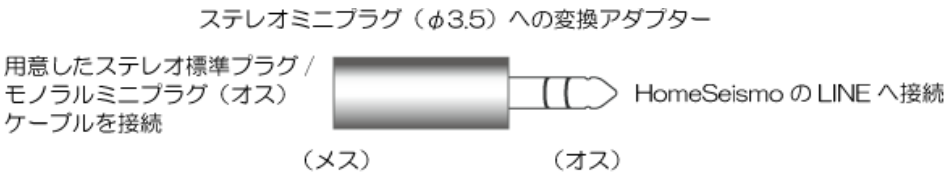
◆「外部スピーカ」コネクタの仕様

端子名	SPK
出力端子	ネジ式端子台（端子ネジM3）
出力方式	BTL型、平衡出力（音声出力：最大 1.2W） 出力インピーダンス：8Ω
備考	SPKの両端子共C.OUTを除くいかなる本機の他の部分と接続しないでください。 最大音量は、VOLつまみの設定にて変化します。 （音量調整に関して：左回しで小・右回しで大） 接続する機器の入力インピーダンスは 8Ω以上の物を採用してください。

◆「LINE OUT」コネクタの仕様

端子名	LINE
出力端子	φ3.5mmミニピンジャック（3 極） 2 極の物や、φ2.5mmのミニプラグは接続できません。
最大出力レベル	600Ω負荷に接続して 0dBm相当 ※負荷のインピーダンスに依り変化します。
出力方式	LINE出力、非平衡（片側接地･･･アース・GND）
接続相手機器の入力インピーダンス	600Ω以上（推奨）
端子部アサイン	 Tip と Ring にモノラル（モノラル同一信号）の音声 パソコン用の電源付スピーカーユニットを繋いだ場合、左右同一（同相）の出力です。
備考	本端子には、外部から電圧を印加しないでください。 本端子の最大出力レベルは、VOLつまみの設定によって変化しません。
オーディオコネクタの変換について	用意いただいたケーブルがステレオミニプラグ（φ3.5mm）でない場合、市販の変換ケーブル・変換アダプター等をご利用ください。 **＜接続例＞** ● RCA ピンプラグケーブルを用意された場合（変換ケーブル使用） 

◆「LINE OUT」コネクタの仕様

オーディオコネクタの変換について	● モノラル標準プラグ（2 極、φ6.5mm）ケーブルを用意された場合（変換アダプター使用）  ● ステレオ標準プラグ（3 極、φ6.5mm）ケーブル、モノラルミニプラグ（2 極、φ3.5mm）ケーブルを用意された場合（変換アダプター使用） 

付録 2　HS302P 製品仕様

収容回線数	1 回線　（緊急地震速報受信用）
接続可能機器	・スピーカ ・音響機器（アンプ、ミキサー等） ・接点制御機器 ・接点被制御機器（回転ライト等） ・被制御機器のインターフェース用電源等
インターフェース	・接点出力(C.OUT)×3 ・電源出力DC5V 常時(DC5V) ・電源出力DC12V 制御可(RLY)×1 ・スピーカ出力(SPK)×1 ・LINE音声出力(LINE)×1 ・スイッチ（SW）×1
LANインターフェース	RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX （自動MDI/MDI-X切替機能あり）
プロトコル	独自プロトコル（IP＋UDP）
電源	AC100V（50/60Hz）
外形寸法	236(W)×198(D)×33(H) mm （突起物含まず）
本体重量	1.04kg
動作保証範囲	使用温度範囲：0℃～40℃ 動作保証湿度（相対湿度）：20%～80% （ただし、結露なきこと）

付録３　工場出荷時設定内容

ネットワーク設定	
ネットワーク設定	IPアドレスを自動的に取得する(DHCP)
音声発報・接点出力動作停止時間帯	
音声発報・接点出力動作停止時間帯	停止しない
発報条件	
緊急地震速報(警報/予報)発報条件	緊急地震速報(警報) もしくは 緊急地震速報(予報)で音声発報・接点出力動作を行う
音声ガイダンス 緊急地震速報(予報)予想震度	予想震度 3.5 以上で発報
緊急地震速報(予報) 気象庁発表の確からしさ	気象庁からの緊急地震速報(予報)に含まれる確からしさが低い場合は、音声発報・接点出力動作を行わない
緊急地震速報(予報) 予測する震源の深さ	気象庁からの緊急地震速報(予報)に含まれる震源の深さが 150kmより深い場合は、音声発報・接点出力動作を行わない
音声ガイダンス P波検知	無効
緊急地震速報音声ガイダンス	
緊急地震速報音声ガイダンス	高度利用者向けガイダンス
緊急地震速報(予報)チャイム音	予測震度 5 弱以上 NHKチャイム音 ＋ 予測震度 4 以下 REICチャイム音
ラインアウト音量レベル	
ラインアウト音量レベル	0dB
放送開始遅延時間	
放送開始遅延時間(ミリ秒)	0 ミリ秒
接点出力	
C.OUT1(a接点)	放送連動
C.OUT2(a接点)	放送連動
C.OUT3(a接点)	放送連動
12V出力	
RLY 12V出力(a接点)	放送連動
キャンセル報受信時の動作	
「ガイダンス発報終了後」の キャンセル通知	最後に発報した緊急地震速報に対して後からキャンセル報を受信した場合に、音声・接点出力(放送連動のみ)動作を行わない

付録４　端末設定メモ

端末情報	
SN	
パスワード(半角英数字 8 文字)	
ユーザログインサイト情報http://hs.a-2.co.jp/	
ユーザ名	
パスワード	
ネットワーク設定	
DHCP	
IPアドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
HomeSeismoローカルポート番号	
使用するFlet's網	
IPv6 アドレス	
音声発報・接点出力動作停止時間帯	
音声発報・接点出力動作停止時間帯	
発報条件	
緊急地震速報(警報/予報)発報条件	
音声ガイダンス 緊急地震速報(予報)予想震度	以上で発報
気象庁発表の確からしさ	□気象庁からの緊急地震速報(予報)に含まれる確からしさが低い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う
予測する震源の深さ	□気象庁からの緊急地震速報(予報に含まれる震源の深さが 150kmより深い場合でも、音声発報・接点出力動作を行う
音声ガイダンス　P波検知	□有効 □単独P波検知無効(複数P波検知のみ) 震度　　以上で発報
緊急地震速報音声ガイダンス	
一般向けガイダンス	
高度利用者向けガイダンス	
カウントダウンガイダンス	

予測震度 5 弱以上 NHKチャイム音 ＋ 予測震度 4 以下 REICチャイム音	
NHKチャイム音	
REICチャイム音	
ラインアウト音量レベル	
ラインアウト音量レベル	
放送開始遅延時間	
放送開始遅延時間(ミリ秒)	ミリ秒
接点出力	
C.OUT1（a接点）	□放送連動
	□ワンショット 出力時間　ミリ秒 緊急地震速報予想震度 P波検知 □有効 □単独P波検知無効（複数P波検知のみ） 震度　以上で発報 □試験放送で動作する
C.OUT2（a接点）	□放送連動
	□ワンショット 出力時間　ミリ秒 緊急地震速報予想震度 P波検知 □有効 □単独P波検知無効（複数P波検知のみ） 震度　以上で発報 □試験放送で動作する
C.OUT3（a接点）	□放送連動
	□ワンショット 出力時間　ミリ秒 緊急地震速報予想震度 P波検知 □有効 □単独P波検知無効（複数P波検知のみ） 震度　以上で発報 □試験放送で動作する
12V出力	
RLY　12V出力（a接点）	□放送連動
	□ワンショット 出力時間　ミリ秒 緊急地震速報予想震度 P波検知 □有効 □単独P波検知無効（複数P波検知のみ） 震度　以上で発報 □試験放送で動作する

キャンセル報受信時の動作	
「ガイダンス発報終了後」の キャンセル通知	□最後に発報した緊急地震速報に対して後からキャンセル報を受信した場合に、音声・接点出力（放送連動のみ）動作を行う
FTE-HS登録	
No.1	端末名： IPアドレス： ポート番号：
No.2	端末名： IPアドレス： ポート番号：
No.3	端末名： IPアドレス： ポート番号：
No.4	端末名： IPアドレス： ポート番号：
No.5	端末名： IPアドレス： ポート番号：
No.6	端末名： IPアドレス： ポート番号：
No.7	端末名： IPアドレス： ポート番号：
No.8	端末名： IPアドレス： ポート番号：
FTE-HS 緊急地震速報通知条件	
緊急地震速報（予報）予想震度階級	以上で通知
備考	

付録５　ソフトウェア使用許諾契約 兼 利用規約

株式会社エイツー（以下「当社」）と、当社が製造する緊急地震速報受信機 HomeSeismo(以下「本件製品」）のソフトウェア（以下「本件ソフトウェア」）の使用および本件ソフトウェアの使用により当社から提供される地震情報配信サービス（以下、本件サービス）を受ける者（以下「お客様」）との間に結ばれる利用規約（以下「本規約」）は、以下のとおりです。

第 1 条 利用規約の適用

1. 当社は、お客様に対して本規約により緊急地震速報及び内蔵地震計による地震情報の受信及び通報を可能にするソフトウェアの提供、右の地震情報の配信、内蔵地震計データの収集、その他本件製品および本件サービスに付随して行われるサービスを行います。
2. お客様は本件ソフトウェアの使用に先立ち、本規約に規定する各条項の内容を承諾します。

第 2 条 利用規約の範囲

当社とお客様との間に個別契約がある場合は、個別契約の規約が、本規約に優先して適用されます。

第 3 条 本件サービスの内容について

【緊急地震速報】

1. 当社は、気象庁およびデータ配信者から緊急地震速報を受信した場合、即座にお客様の本件製品へ再配信を行い、本件製品設置場所における主要動の到達時間、震度を演算し、予め本件製品で設定した震度以上の揺れが生じると予測された場合に、お客様の設置した本件製品から音声ガイダンス及び接点出力信号による通報を行います。なお、この通報は大きな揺れが到達する前に行うことを目標としますが、直下地震など震源地とお客様の設置した本件製品の位置関係・距離が近い地震の場合は、効果的に動作しない場合や情報の受信が間に合わない場合があります。
2. 緊急地震速報とは地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、音声ガイダンスや接点出力信号により可能な限り素早く知らせる情報です。緊急地震速報は、情報を発表してから主要動が到達するまでの時間は、長くても数秒から数十秒と極めて短く、震源に近いところでは情報が間に合わないことがあります。また、ごく短時間のデータだけを使った情報であることから、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。緊急地震速報を適切に活用するためには、このような特性や限界を十分に理解する必要があります。
3. 緊急地震速報は気象庁が提供する地震情報です。

【内蔵地震計による地震情報の提供】

1. 内蔵地震計による地震情報とは、本件製品に内蔵された地震計が地震の初期微動(P 波)を検出して音声ガイダンスや接点出力信号によりお知らせする情報です。
2. 内蔵地震計による地震情報では､内蔵地震計が地震の初期微動(P 波)を検出してから主要動が到達するまでの時間は、長くても数秒から数十秒と極めて短く、震源に近いところでは情報が間に合わないことがあります｡内蔵地震計による地震情報は、まれに地震動以外の振動により誤報を発報する可能性があります。また地震波をとらえられず、発報できない可能性があります。
3. 内蔵地震計による地震情報の提供は、工場出荷時には無効の設定になっています。提供を受ける場合には、前項を理解した上で、お客様の責任で有効に設定してご利用ください。

【内蔵地震計データの収集】

1. 内蔵地震計データとは、内蔵地震計が計測した地震情報、北緯東経、発生日時です。
2. 内蔵地震計データを取得及び利用する権利は当社に帰属します。
3. 内蔵地震計データは地震情報の解析や地震防災に役立てるための防災データ等として、活用・公開させて頂く場合があります。

【その他サービス】

切断された本件製品に対するメールでのお知らせ、ファームウェアのバージョンアップ、試験放送等、本件製品および本件サービスに付随して行われるサービスです。

第 4 条 損害賠償

1. 第 3 条の本件サービスの利用に際して、誤報やシステム障害、本件製品の故障等による情報の未達、あるいは情報を通報した結果生じた損害においても、お客様は、当社に対してその損害賠償を請求すること

はできません。
2. お客様は自己の責任において本件サービスを利用するものとし、お客様による不適切な避難行動その他災害対策行為により生じた損害賠償を当社に対して請求することはできません。
3. お客様は当社の施設の維持管理の上で必要な場合には、地震情報の提供が一時的に停止することを承認するものとし、それに伴う損害賠償を当社に対して請求することはできません。
4. お客様が地震情報を受け、その情報を第三者に提供する場合は、その提供に関する責任はお客様とします。
5. 第 1 項から第 4 項にかかわらず、当社の故意又は重大な過失によりお客様に損害が生じた場合には、本件製品の販売価格の範囲内で当社に対し損害賠償を請求することができます。
6. お客様が本規約に反した行為または不正もしくは違法に本件ソフトウェアの使用および本件サービスを利用することに、起因または関連して生じたすべてのクレームや請求については、お客様の費用と責任で解決するものとします。また、当社もしくは第三者に損害を与えた場合、当社は当該お客様に対して相応の損害賠償の請求（弁護士費用を含む）を行う場合があります。

第 5 条 利用の準備

本件サービスを受けるにあたり、お客様は、自己の費用と責任において必要な通信機器やソフトウェア、通信会社との契約等、必要なもの全てを用意する必要があります。本件製品の設置・接続・設定およびネットワークの管理とそれに伴う責任はお客様になります。登録データに変更が生じた場合には、お客様が速やかに適宜修正する義務があります。

特に設置位置の情報は、緊急地震速報を受けるにあたって、予測震度や到達時間を計算するために大変重要です。内蔵地震計から直下型地震を監視するにも正確な位置情報の登録が必要になります。間違ったご登録をされた場合、本件サービスを終了させていただく場合があります。

本件製品の設置・接続・設定が不適切であること、またお客様がデータを正確に登録しないことにより、お客様に不利益が生じることがあっても、当社は一切の責任を負いません。

第 6 条 個人情報の保護

当社はお客様の個人情報を、当社のプライバシーポリシーに基づき、適切に取扱います。
当社のプライバシーポリシーは当社ウェブサイト上の「個人情報ポリシー」
（http://www.a-2.co.jp/privacy/index.html）に記載の通りです。

第 7 条　ユーザ名およびパスワードの管理

お客様は、本規約にもとづいてお客様に対して発行されたユーザ名およびパスワード（以下、本件パスワード等）、本件製品に対して発行されたパスワード（以下、本体パスワード）を自己の責任において管理、保管するものとします。

本件パスワード等および本体パスワードを利用して行われた行為の責任は当該ユーザ名を保有しているユーザの責任とみなします。お客様は本件パスワード等および本体パスワードが漏洩したり、許可なく第三者に使用されたりしていることが判明した場合には、ただちにその旨を当社にご連絡ください。本件パスワード等および本体パスワードの管理不十分、使用上の過誤、第三者の使用などから生じた損害に対し、当社は一切の責任を負いません。

第 8 条 本規約にもとづく料金（以下「本サービス料金」）及び支払い

本規約の合意および本サービス料金は、新規ユーザ登録を行うことで完了、発生します。本件サービス提供期間は新規ユーザ登録日から 1 年間が契約期間となります。
初年度分の本サービス料金は本件製品代金と併せて、年一括前払いです。
2 年目以降の本サービス料金については別途お渡しする「HomeSeismo サービス料金（2 年目以降）お支払い先のご案内」（以下、支払案内書）に記載の支払先にお支払い頂きます。発生する金額については、プランごとに異なりますので、当社のウェブサイト上の「価格・サービス」
（http://www.a-2.co.jp/homeseismo/service/service.html）の記載をご確認ください。
アクセス過多、その他予期せぬ要因等で地震情報配信速度の低下や障害などを生じた場合においても、お客様との契約不履行には該当しないものとし、本サービス料金の返金等は一切行わないものとします。

第 9 条 保証について

本件製品に関する保証規定は、当社ウェブサイト上の「保証について」
（http://www.a-2.co.jp/homeseismo/support/warranty.html）に記載の通りです。

第 10 条 本件サービスの継続・終了

1. お客様は本件サービスの終了を希望する場合、本規約に基づく本件サービス提供期間終了日までに、終了希望の旨を当社にご連絡ください。本規約第 8 条に基づく支払がおこなわれない場合や、製品が接続・使

用されていない場合でも、終了希望の連絡が無い限り継続使用とみなし、本サービス料金が発生しますので終了希望の際は必ずご連絡ください。

2. お客様は本件サービスの中途解約を希望する場合、その旨を支払案内書に記載の支払先に届け出るものとします。
3. 本件サービスの終了を希望するお客様は終了日までに当社に対する債務の全額をお支払い頂きます。中途解約の場合は、月単位で未使用月分の本サービス料金を、本規約契約者様本人名義の口座へ振り込みます。振込みの際には当社規定の中途解約手数料（一律 3,000 円・税別）と振込み手数料を差し引きます。差し引き後残金が不足する場合には返金できません。

第 11 条 禁止事項

お客様は、本件サービスの利用にあたって、以下の行為を禁止します。

1. 他のお客様、第三者または、本件サービスにかかわる当社もしくは通信会社の著作権、財産権、プライバシー、その他の権利を侵害・制限する行為、および侵害・制限する恐れのある行為。
2. 公序良俗に反する行為、犯罪的行為、およびその恐れのある行為。
3. 事実に反する情報その他、公序良俗に反する、またはそのおそれのある情報を、当社、他のお客様または第三者に対して提供する行為。
4. 法令に違反する、または違反する恐れのある行為。
5. 当社の承諾なく、本件サービスを通じて、もしくは本件サービスに関連して営利を目的とする行為、またはその準備を目的とした行為。
6. 当社の運営を妨げる行為、不利益もしくは損害を与える行為、誹謗する行為、およびその恐れのある行為。
7. 本件パスワード等および本体パスワードを不正に使用する行為。
8. 本件ソフトウェア使用に伴い、本件製品が接続する他のコンピュータ・システムまたはネットワークへの不正アクセスを試みる行為。
9. コンピュータウィルス等の有害なプログラムを、本件ソフトウェアの使用を通じてまたは、本件サービスに関連して、使用し、もしくは提供する行為。
10. 本件ソフトウェアの使用により取得しうる情報を改ざん・消去する行為、または事実に反する情報を送信・掲示する行為。
11. 本件ソフトウェアの解析等を行う行為。
12. その他、当社が不適切と判断した行為。

第 12 条 本件パスワード等の取り消し

1. お客様が以下の事由に該当する場合、当社は事前に通知することなく、直ちに当該お客様の本件パスワード等の取り消しおよび、本件サービスを停止する場合があります。なお当社は本規約の合意を以下の事由により解約となったお客様に対して、解約理由を開示する義務を負わないものとします。
    1. 第 11 条の行為、またはその恐れのある行為を行った場合
    2. 登録情報、届出内容に虚偽があった場合
    3. 当社に対する債務の履行遅延または不履行があった場合
    4. 過去に本規約違反などにより除名されていることが判明した場合
    5. 手段の如何を問わず、当社の運営を妨害した場合
    6. その他、本規約に違反した場合
    7. その他、お客様として不適切、もしくは本件ソフトウェア使用の継続が困難であると当社が判断した場合
2. 前項の規約により、本件パスワード等を喪失した者は、当社の指定する期日までに当社に対する債務の全額を当社に対して支払うものとします。また、未使用月分の本サービス料金は返還しません。

第 13 条 本件サービスの転売、転用禁止

お客様が本件サービスについて、その全部あるいは一部を問わず、商業目的で利用（使用、再生、複製、複写、販売、再販売など形態を問わず）することを禁止します。

第 14 条 本件ソフトウェア使用の内容・料金の変更･停止

当社が必要と判断した場合には、お客様に事前の通知をすることなく、いつでも本件サービスの内容・本サービス料金の全部または一部を変更、追加、廃止する場合があり、お客様はこれをあらかじめ承諾するものとします。また、廃止する場合においては当社が適当と判断する方法で事前にお客様にその旨を通知するものとします。変更・追加を行う場合も、当社はできる限りお客様に事前通知を行うよう努めるものとします。当社が本件サービスの内容の全部または一部を変更、追加、廃止した場合にも、お客様に対しては一切責任を負わないものとします。

第 15 条 本件サービスの中断、中止

当社は、以下の事項に該当する場合、お客様に事前に通知することなく、本件サービスの運営を中止、中断することがあります。あらかじめいずれかの状況が想定される場合には、当社が適当と判断する連絡方法によって事前にお客様に通知します。

1. 戦争、暴動、騒乱、労働争議、地震、噴火、洪水、津波、火災、停電、行政指導その他非常事態が発生し、もしくは発生する恐れがあり、本件サービスが通常通り出来なくなった場合
2. 必要な保守・工事などのメンテナンスを定期的または緊急に行う場合
3. 当社設備等に障害が発生した場合
4. その他、当社が運用上または技術上で本件サービスの一時的中断が必要と判断した場合
5. 当社の責に帰すべからざる事由により本件サービスの提供ができなくなった場合

当社は、本条に基づく本件サービスの中止及び中断によって生じたお客様の損害については、その責任を負いません。ただし、当社の責任で本件サービスが連続 7 日以上中断した場合には、中断した期間と同じ日数分、本件サービス提供期間を延長します。

当社は、やむを得ない場合、その他当社の運営上の理由により、本件サービスを終了することができるものとします。その場合未使用月分の本サービス料金を払い戻します。

第 16 条 知的財産権

1. 当社が提供するすべてのコンテンツ、個々の情報（データ）および情報（データ）の集合体に関する権利は当社にあり、著作権または営業秘密等の知的財産権（以下「著作権等」という）によって保護されます。お客様は著作権等の権利者の承諾を得ず、当社を通じて提供される情報を著作権法で定めるお客様個人の私的使用の範囲を超えて使用、または公開することは出来ません。
2. 本件ソフトウェアおよび本件ソフトウェアに関連して使用されているすべてのソフトウェアは、知的財産権に関する法令等により保護されている財産権および営業秘密を包含しています。
3. 本条の規定に違反した場合、当該コンテンツ、個々の情報（データ）、情報（データ）の集合体、ソフトウェアおよびそれらを複製、公開、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳、翻案、使用許諾、転載、再利用物の利用（使用）を当社が差止する権利、ならびに当該行為によってお客様が得た利益相当額を当社が請求することができる権利を有することに、お客様はあらかじめ承諾するものとします。
4. 当社から配信されるデータを、当社の承認なしで再配信するなど、再利用することを禁じます。

第 17 条 免責事項

1. 当社は本規約および追加規定、個別規定に明示的に定める場合を除き、当社の責に帰すべからざる事由から発生した損害、地震解析技術の限界から発生する誤報や不検知、当社の予見の有無にかかわらず、特別の事情から生じた障害、逸失利益、および第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害についてはその責任を負いません。何かしらの原因（ネットワークや機器の障害、ソフトの不具合も含みます）により緊急地震速報が届かないまたは地震に間に合わない、告知内容が実際の地震規模と異なるなど、本件サービスを利用することで損害等が発生した場合、お客様の責任で一切を処理するものとします。
2. 当社は本件サービスの内容、およびお客様が当サイトを通じて得る情報などについて、その完全性、正確性、確実性、有用性などのいかなる責任も負いません。本件サービスを利用して得た情報を、別途、お客様が定めた利用目的に向けて活用する場合は、お客様の責任とします。
3. 当社は、個別の障害に対する原因切り分け、原因解析を行う責務を負いません。
4. お客様が、本件サービスを利用して得た情報をもとに行った行動により生じた人物の損傷、死亡、所有物の破損など、いかなる損害に対して、いかなる賠償の責も負いません。
5. 本規約第 3 条のファームウェアの入れ替えが正常に行われなかった場合、本件製品を当社まで送り返して頂くことがあります。その際の、本件製品のファームウェアの入れ替え作業については当社負担でこれを行うものとし、現地での取り付け、取り外しおよび発送にかかる費用についてはお客様の負担にて行うものとします。

第 18 条 通知または連絡

当社は、ユーザ登録されているお客様への通知または連絡が必要であると判断した場合には、ご登録されている電子メールを用いて連絡を行います。通常使用している電子メールアドレスをご登録ください。またメールアドレスが変更になった場合には、必ず登録の変更を行ってください。メールアドレスが登録されていないと、当社から必要な連絡を受けらない場合があります。

また当社は、本件サービスを利用経験のあるお客様に対して有益なキャンペーンやセール情報・新サービスのお知らせなどを、サイト上での掲示や、電子メールの送付、送付物への同梱などで通知できるものとし、お客様はこれをあらかじめ承諾するものとします。

第 19 条 準拠法、管轄裁判所

本規約に関する準拠法は、日本法とします。

また、本件ソフトウェアの使用及び本件サービスの利用に関連してお客様と当社との間で紛争が生じた場合には、お客様と当社で誠意を持って協議して定めます。協議によっても解決しない場合には、東京簡易裁判所または東京地方裁判所を専属管轄裁判所とします。

保　証　書

この製品は、厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、この保証書に記載された内容により修理致します。また、物理的な破損等が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
●電子メール（HomeSeismo@a-2.co.jp）宛にお問い合わせ下さい。
●修理する製品を発送する際、必ず保証書をそえてご依頼下さい。また送料につきましては、お客様のご負担とさせていただきます。尚、運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
●この保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

保 証 規 定

〇保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。

〇修理はセンドバック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。

〇本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。

〇お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、当社及び販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。

- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

〇本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。

〇次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。

1. 取扱い上の誤り及び不当な改造や修理による故障及び損傷
2. お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の衝撃による故障及び損傷
3. 間違って接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合等）
4. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷
5. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障及び損傷
6. 日本国外で発生した損害
7. 保証書のご提示がない場合
8. 代理店の捺印がない場合
9. 株式会社エイツーもしくは代理店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合

〇本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合のみにて有効なものとします（This guaranty is valid only Japan.）

製 品 名	HomeSeismo　HS302P
保証期間	年　　月　　日より 1 年間

代理店記入欄	代理店名	印
	代理店住所	TEL (　　)

株式会社エイツー
〒142-0041
東京都品川区戸越 1-7-1　戸越 NI ビル 7F
URL：http://www.a-2.co.jp

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

株式会社エイツー

〒142-0041　東京都品川区戸越 1-7-1 戸越NIビル 7F

URL　　：http://www.a-2.co.jp/homeseismo/

E–mail　：homeseismo@a-2.co.jp

TEL　　：03-5498-7411

受付時間：9:30～12:00　13:00～17:00　＜土日、年末年始、祝日を除く＞

＜お問い合わせ先＞

ご購入いただいた代理店または販売店へお問い合わせください。

●保証について

・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が正しく行われているかを確認してください。

・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●必要事項

・製品名（Model）とシリアル番号（SN）(端末本体下部カバー内の黄色いシールに表記)

・LINK・MONI LED（ランプ）の状態

・お名前、フリガナ

・連絡先電話番号、FAX番号、メールアドレス

・購入店

・購入日付

・設定内容(基本設定等)

・現象（どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのか）

・構成について(ネットワークとの接続状況や使用されているネットワーク機器等)